

令和5年度

**福島県の原子力災害による避難指示区域等の
住民意向調査 全体報告書**

令和6年3月

復 興 庁

目 次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査主体	3
1-3 実施町村	3
1-4 調査方法	3
1-5 調査対象	3
1-6 主な調査項目	3
1-7 調査実施状況	3
1-8 回答者の属性（年齢）	4
1-9 報告書の見方	5
II 調査結果の概要	7
2-1 帰還意向	9
2-2 帰還を決めた理由	10
2-3 帰還を判断するために必要な条件	11
2-4 帰還しないと決めている理由	12
III 調査結果	13
3-1 現在の状況	14
3-1-1 現在の住まいの場所	14
3-1-2 現在の住居形態	16
3-1-3 現在の職業（就業形態）	18
3-1-4 現在の業種	22
3-1-5 世帯構成	26
3-1-6 世帯人数	27
3-1-7 震災発生当時の住まいの行政区	28
3-1-8 震災発生当時の住居形態	30
3-2 将来の意向	32
3-2-1 帰還意向	32
3-2-2 帰還を決めた理由〔すでに帰還した方〕	40
3-2-3 今後の生活において必要な支援〔すでに帰還した方〕	42
3-2-4 帰還時期〔帰還したい方〕	44
3-2-5 帰還する場合の家族〔帰還したい方〕	45

3-2-6	帰還した場合に希望する住居形態〔帰還したい方〕	46
3-2-7	帰還した場合に今後の生活において必要な支援 〔帰還したい方〕	48
3-2-8	帰還を判断するために必要な条件 〔帰還の判断がつかない方〕	50
3-2-9	帰還しないと決めている理由〔帰還しない方〕	52
3-2-10	帰還しない場合に居住を希望する自治体〔帰還しない方〕	54
3-2-11	帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態 〔帰還しない方〕	55
3-2-12	帰還しない場合に今後の生活において必要な支援 〔帰還しない方〕	56
3-2-13	町との「つながり」を保ちたいか 〔帰還の判断がつかない方・帰還しない方〕	57

I 調査の概要

1-1 調査目的

福島県内の原子力災害による避難住民の早期帰還・定住に向けた環境整備等のための基礎情報収集を目的に住民意向調査を実施

1-2 調査主体

復興庁、福島県、各町村

1-3 実施町村

富岡町、葛尾村、大熊町、双葉町、浪江町の5町村

1-4 調査方法

郵送法（郵送配布・郵送回収）

1-5 調査対象

各世帯の代表者

1-6 主な調査項目

帰還に関する意向、帰還の判断に必要な条件など

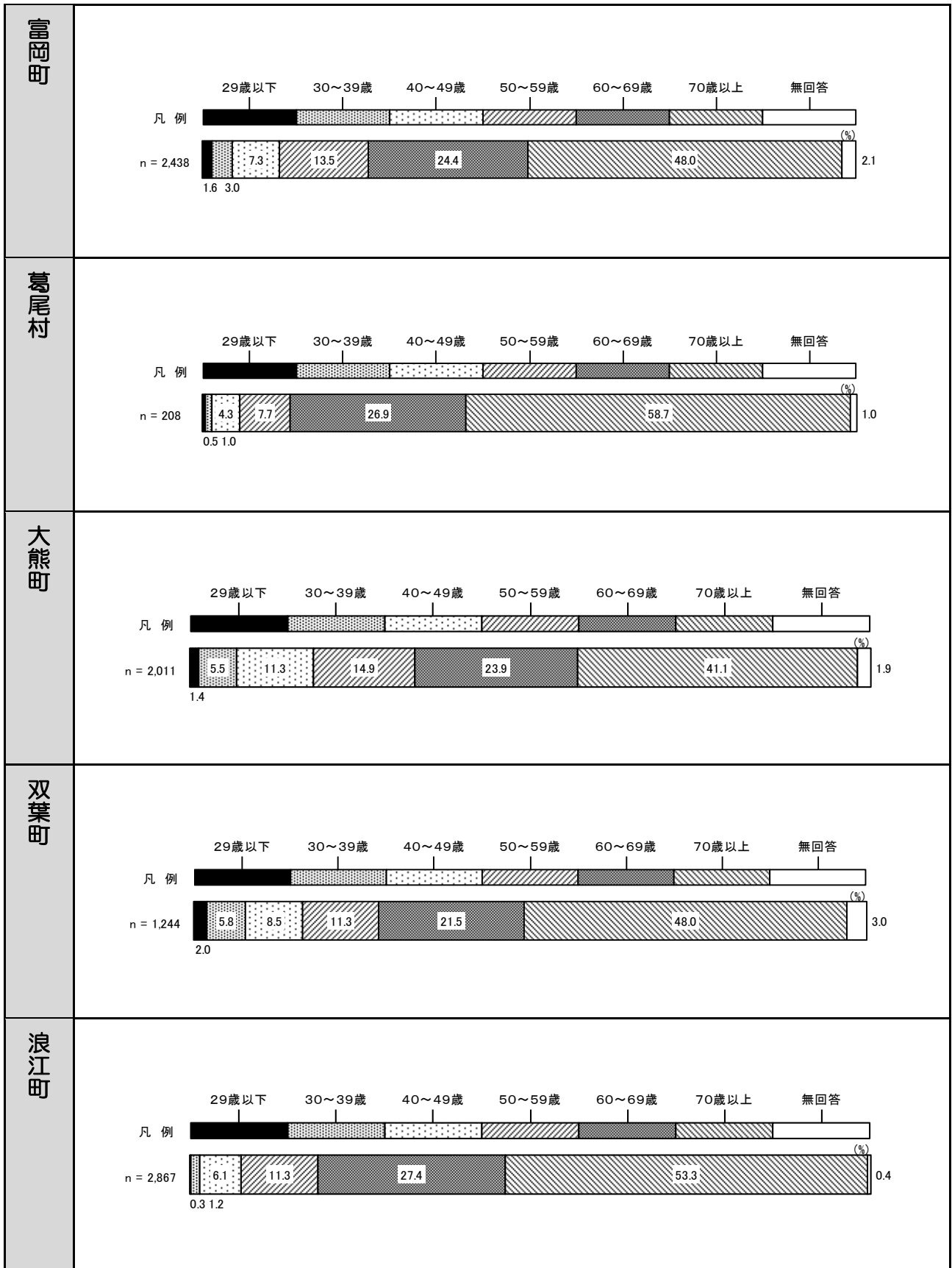
1-7 調査実施状況

調査対象となった各町村の調査実施状況は以下のとおり。

	対象町村	対象地域	記名・無記名	対象世帯数	回答世帯数	有効回収率	調査実施期間
1	富岡町	全域	無記名	5,993	2,438	40.7% (41.9%)	令和5年 8月28日～ 9月18日
2	葛尾村	全域	記名	438	208	47.5% (61.1%)	令和5年 9月19日～10月 9日
3	大熊町	全域	無記名	5,139	2,011	39.1% (42.6%)	令和5年10月16日～11月 5日
4	双葉町	全域	記名	3,244	1,244	38.3% (39.6%)	令和5年10月30日～11月19日
5	浪江町	全域	記名	7,222	2,867	39.7% (47.2%)	令和5年11月20日～12月10日

※富岡町・双葉町・浪江町の（ ）内は令和4年度／葛尾村・大熊町の（ ）内は令和3年度

1-8 回答者の属性（年齢）



1-9 報告書の見方

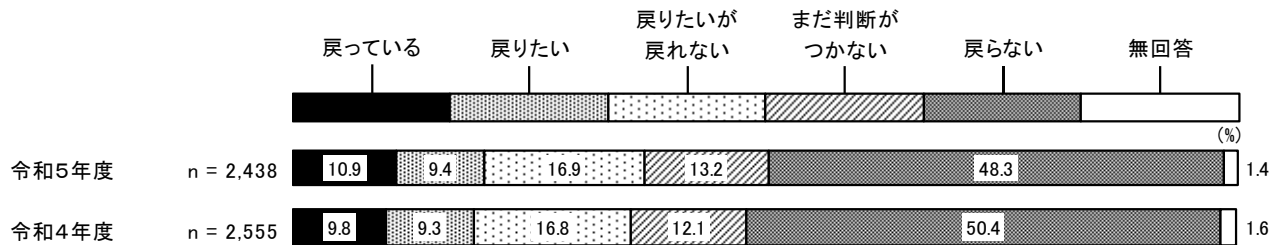
- 調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- 回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- 図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- 本報告書は、各町村で実施した類似の設問毎に整理しているが、同一項目として整理している設問であっても、一部、設問内容や回答対象が異なっている場合がある。

II 調査結果の概要

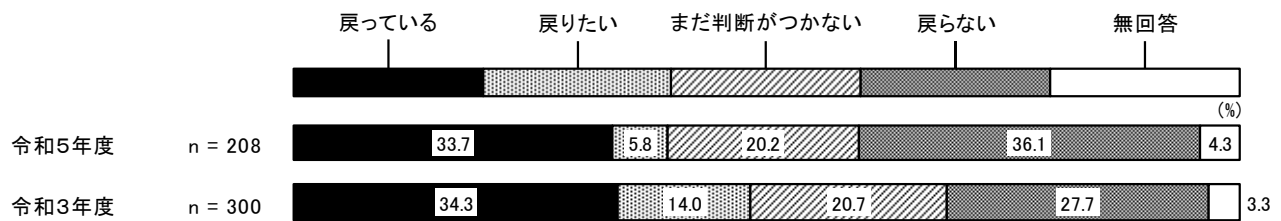
2-1 帰還意向

○令和5年度の調査結果によると、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町の4町で、「戻っている」及び「戻りたい」と回答した方の割合（合算）が増加している。

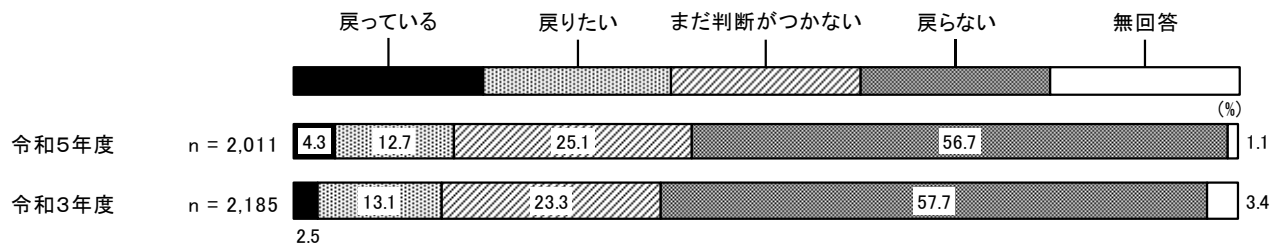
<富岡町>



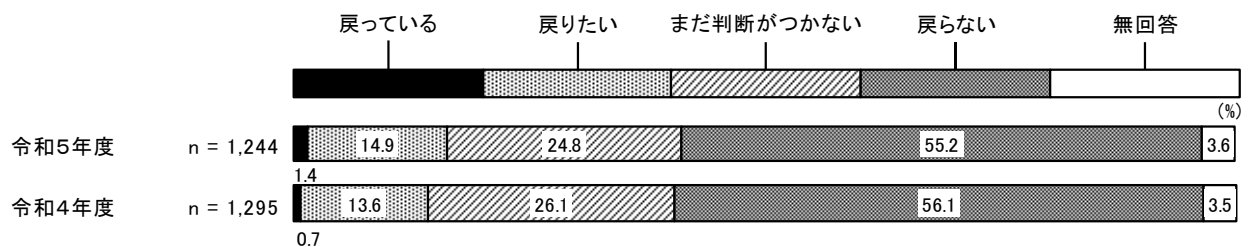
<葛尾村>



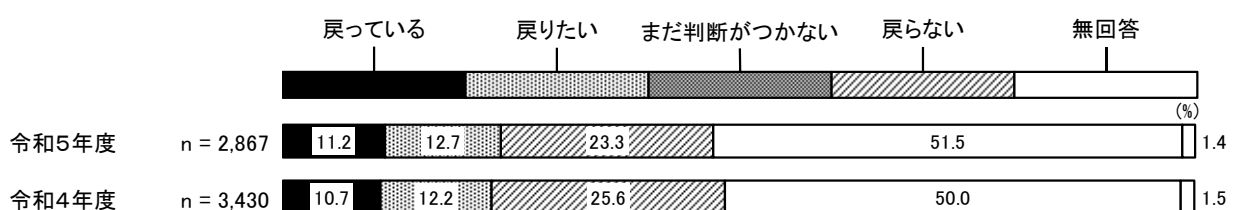
<大熊町>



<双葉町>



<浪江町>



2-2 帰還を決めた理由

○帰還意向において「戻っている」と回答した方が帰還を決めた理由として、「気持ちが安らぐこと」などが上位にあげられている。

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和5年度 n=265	気持ちが安らぐこと 57.7%	水道水等、生活用水の安全性が確認されたこと 41.9%	医療機関が開院したこと 41.1%	放射線量が低減されたこと 40.8%	役場機能が再開したこと 40.8%
葛尾村 令和5年度 n=70	葛尾村での生活は気持ちが安らぐから 75.7%	農地等の管理・耕作のため 54.3%	放射線量が低減されるなど、不安が少しずつ払拭されてきたから 20.0%	友人・知人等が村内に多く居住しているから 20.0%	勤務先が近いから 14.3%
大熊町 令和5年度 n=87	気持ちが安らぐこと 55.2%	役場機能が再開したこと 49.4%	水道水等、生活用水の安全性が確認されたこと 32.2%	自宅や公営住宅等が整備されたこと 31.0%	放射線量が低減されたこと 26.4%
浪江町 令和5年度 n=322	浪江での生活は気持ちが安らぐから 69.9%	放射線量が低減されるなど、不安が少しずつ払拭されてきたから 23.0%	勤務先が近いから 17.1%	友人・知人等が町内に多く居住しているから 13.0%	見守り隊のパトロールなどにより安心して生活できると判断したから 10.2%

< (参考) 前回調査結果 >

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和4年度 n=251	気持ちが安らぐこと 55.4%	医療機関が開院したこと 41.8%	役場機能が再開したこと 40.6%	水道水等、生活用水の安全性が確認されたこと 37.8%	放射線量が低減されたこと 31.1%
葛尾村 令和3年度 n=103	葛尾村での生活は気持ちが安らぐから 76.7%	農地等の管理・耕作のため 52.4%	放射線量が低減されるなど、不安が少しずつ払拭されてきたから 27.2%	友人・知人等が村内に多く居住しているから 18.4%	勤務先が近いから 12.6%
大熊町 令和3年度 n=55	気持ちが安らぐこと 40.0%	役場機能が再開したこと 38.2%	自宅や公営住宅等が整備されたこと 23.6%	放射線量が低減されたこと 20.0%	自宅周辺の除染・避難指示解除が実施される見込みがあること、等 14.5%
浪江町 令和4年度 n=368	浪江での生活は気持ちが安らぐから 70.7%	放射線量が低減されるなど、不安が少しずつ払拭されてきたから 27.4%	勤務先が近いから 15.5%	友人・知人等が町内に多く居住しているから 13.9%	見守り隊のパトロールなどにより安心して生活できると判断したから 11.4%

■大熊町は、「自宅周辺の除染・避難指示解除が実施される見込みがあること」「水道水等、生活用水の安全性が確認されたこと」の2項目が同率で5位となっている

2-3 帰還を判断するために必要な条件

○帰還意向において「まだ判断がつかない」と回答した方が、帰還を判断するために必要な条件として、「医療機関の拡充等」「商業施設の充実」「介護・福祉施設の充実」「住民の帰還状況」などが上位にあげられている。

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和5年度 n=321	医療機関(診療科)の拡充 62.6%	商業施設の充実 52.3%	介護・福祉施設の充実 43.3%	どの程度の住民が 戻るかの状況 36.4%	防犯・防火対策の強化 24.3%
葛尾村 令和5年度 n=42	医療機関(診療科)の拡充 54.8%	公共交通機関の充実 42.9%	介護・福祉施設の充実 40.5%	商業施設の充実 21.4%	どの程度の住民が 戻るかの状況 19.0%
大熊町 令和5年度 n=505	病院、道路、公共交通 などの社会基盤(インフラ) の復旧時期の目途 69.1%	住宅確保への支援に 関する情報 43.8%	どの程度の住民が 戻るかの状況 40.6%	放射線量の低下の目途、 除染成果の状況 30.7%	働く場の確保の目途 30.3%
双葉町 令和5年度 n=309	医療・介護福祉施設の 再開や新設 47.2%	商業施設の再開や新設 26.5%	住宅の再建に関する支援 19.4%	上下水道等ライフラインの 整備状況に関する情報 17.8%	双葉町の今後の姿 16.5%

< (参考) 前回調査結果 >

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和4年度 n=309	医療機関(診療科)の拡充 57.9%	商業施設の充実 47.9%	どの程度の住民が 戻るかの状況 36.6%	介護・福祉施設の充実 34.3%	防犯・防火対策の強化 20.7%
葛尾村 令和3年度 n=62	医療機関(診療科)の拡充 45.2%	介護・福祉施設の充実 29.0%	商業施設の充実 24.2%	公共交通機関の充実 22.6%	どの程度の住民が 戻るかの状況 21.0%
大熊町 令和3年度 n=509	病院、道路、公共交通など の社会基盤(インフラ)の 復旧時期の目途 67.0%	どの程度の住民が 戻るかの状況 42.4%	住宅確保への支援に 関する情報 41.8%	放射線量の低下の目途、 除染成果の状況 39.9%	帰還困難区域の避難指示 解除となる時期の目安に 関する情報 39.1%
双葉町 令和4年度 n=338	医療・介護福祉施設の 再開や新設 45.6%	商業施設の再開や新設 30.8%	除染・解体に関する情報 19.8%	上下水道等ライフラインの 整備状況に関する情報 18.0%	双葉町の今後の姿 13.3%
浪江町 令和4年度 n=877	医療・介護の復旧時期の 目途 57.4%	商業やサービス業などの 施設の復旧時期の目途 36.3%	どの程度の住民が 戻るかの状況 33.8%	住宅確保への支援に 関する情報 24.6%	放射線量の低下の目途、 除染成果の状況 21.8%

2-4 帰還しないと決めている理由

○帰還意向において「戻らない」と回答した方が、帰還しないと決めている理由として、「すでに生活基盤ができているから」「避難先の方が、生活利便性が高いから」「医療環境に不安があるから」などが上位にあげられている。

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和5年度 n=1,177	すでに生活基盤が できているから 63.6%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 41.0%	医療環境に 不安があるから 26.4%	生活に必要な商業施設 などが不足しているから 21.8%	高齢者・要介護者のいる 世帯なので生活が 不安だから 17.8%
葛尾村 令和5年度 n=75	すでに生活基盤が できているから 44.0%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 40.0%	医療環境に 不安があるから 36.0%	高齢者・要介護者のいる 世帯なので生活が 不安だから 33.3%	葛尾村外への移動交通が 不便だから 26.7%
大熊町 令和5年度 n=1,141	すでに生活基盤が できているから 60.9%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 42.1%	医療環境に 不安があるから 34.4%	生活に必要な商業施設 などが不足しているから 30.3%	高齢者・要介護者のいる 世帯なので生活が 不安だから 20.9%
双葉町 令和5年度 n=687	避難先で自宅を購入または 建築し、将来も継続的に 居住する予定だから 54.6%	すでに自宅を解体して しまっているから 42.6%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 35.1%	医療環境に 不安があるから 31.6%	生活に必要な商店などが 元に戻りそうにないから 23.0%
浪江町 令和5年度 n=1,476	すでに生活基盤が できているから 56.4%	元の住家を解体しており、 戻る家がないから 54.2%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 41.9%	医療環境に不安が あるから 41.2%	生活に必要な商業施設 などが不足しているから 26.8%

< (参考) 前回調査結果 >

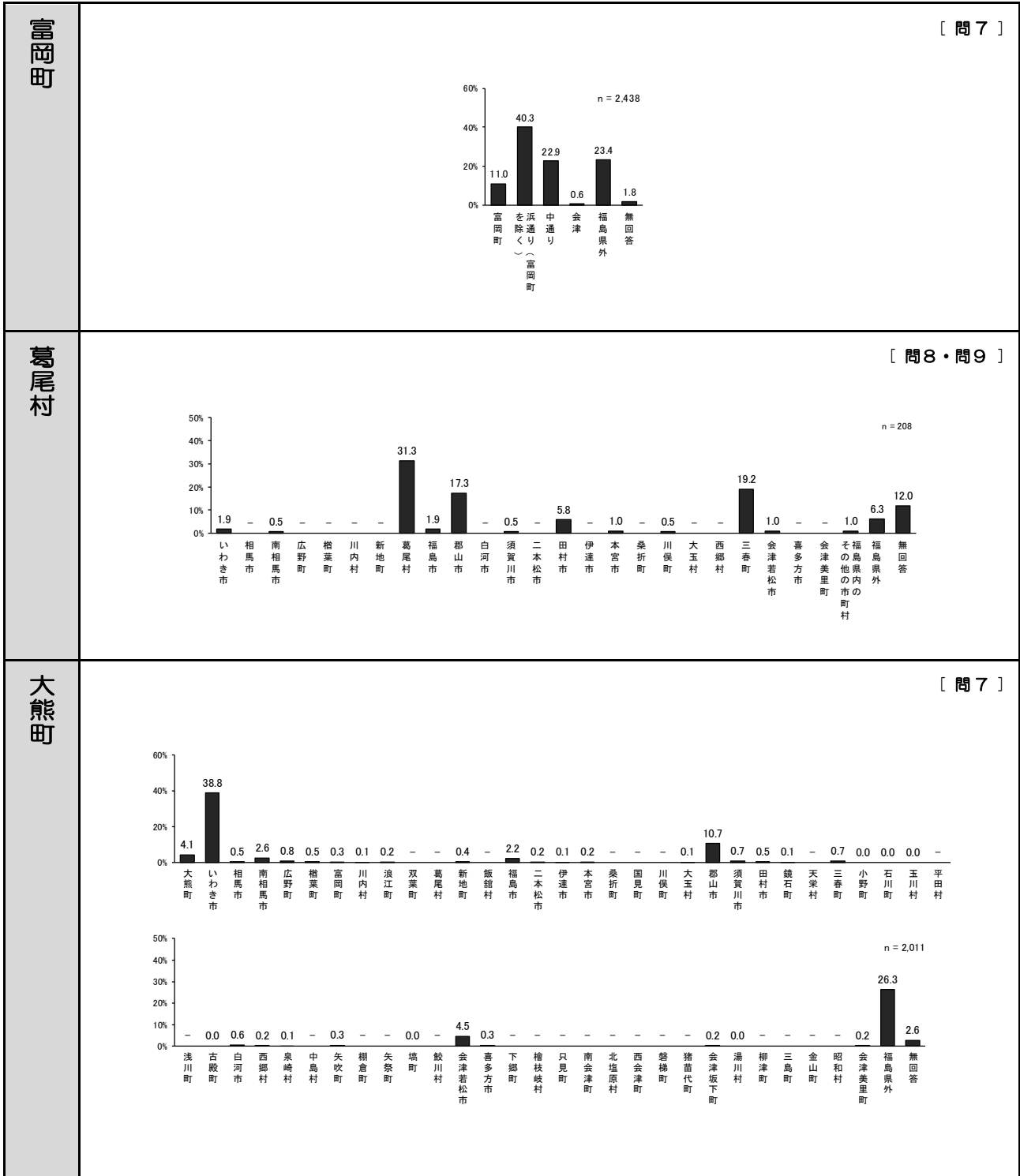
※複数回答可

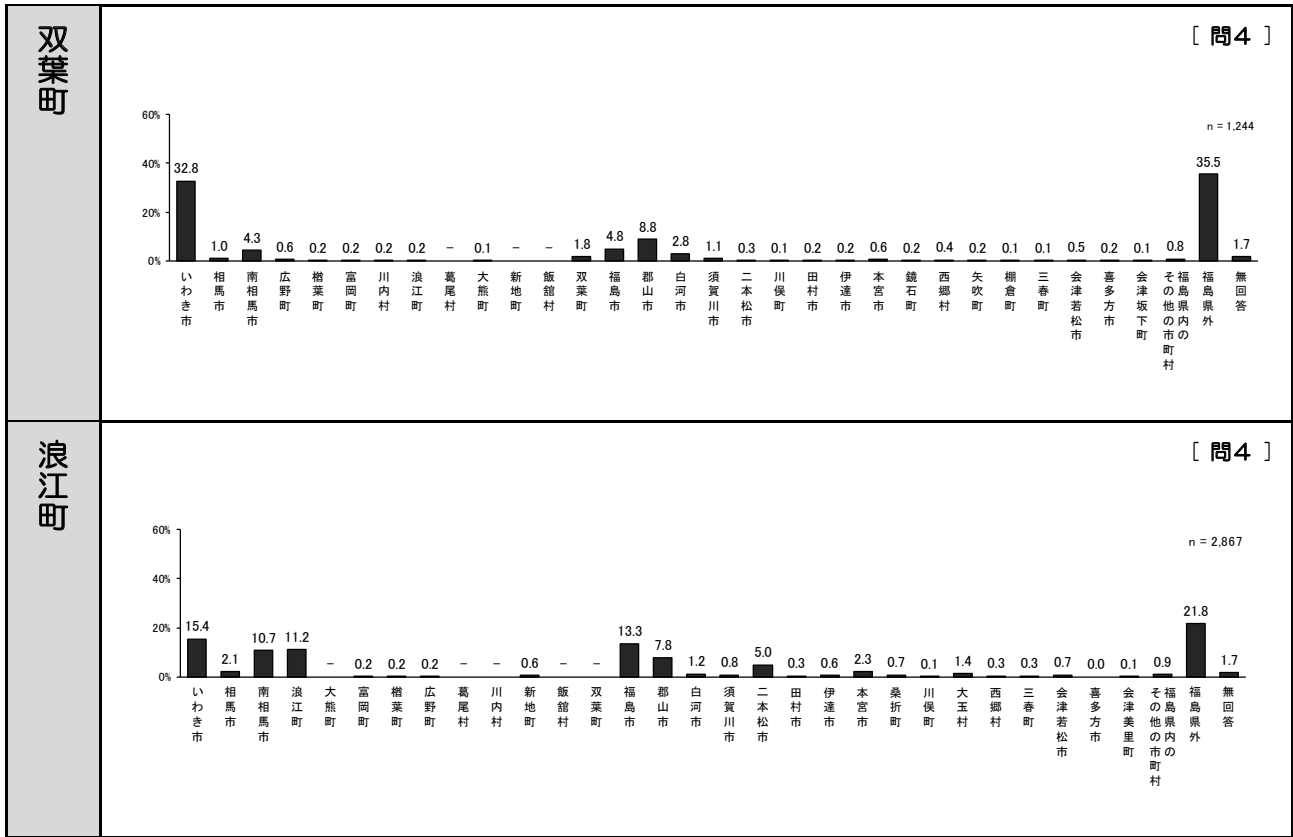
	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和4年度 n=1,287	すでに生活基盤が できているから 64.2%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 42.7%	医療環境に 不安があるから 30.8%	生活に必要な商業施設 などが不足しているから 24.9%	原子力発電所の安全性に 不安があるから 22.5%
葛尾村 令和3年度 n=83	避難先の方が、 生活利便性が高いから 45.8%	医療環境に不安が あるから 37.3%	すでに生活基盤が できているから 36.1%	葛尾村外への 移動交通が不便だから 28.9%	高齢者・要介護者のいる 世帯なので生活が 不安だから 25.3%
大熊町 令和3年度 n=1,261	すでに生活基盤が できているから 60.7%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 42.0%	医療環境に不安が あるから 37.7%	生活に必要な商業施設 などが不足しているから 32.9%	家が汚損・劣化し、 住める状況ではないから 25.0%
双葉町 令和4年度 n=727	避難先で自宅を購入 または建築し、将来も継続 的に居住する予定だから 55.2%	すでに自宅を解体して しまっているから 41.0%	医療環境に不安が あるから 41.0%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 33.7%	生活に必要な商店などが 元に戻りそうにないから 30.5%
浪江町 令和4年度 n=1,715	すでに生活基盤が できているから 52.2%	元の住家を解体しており、 戻る家がないから 49.7%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 43.0%	医療環境に不安が あるから 39.3%	生活に必要な商業施設 などが不足しているから 25.2%

III 調査結果

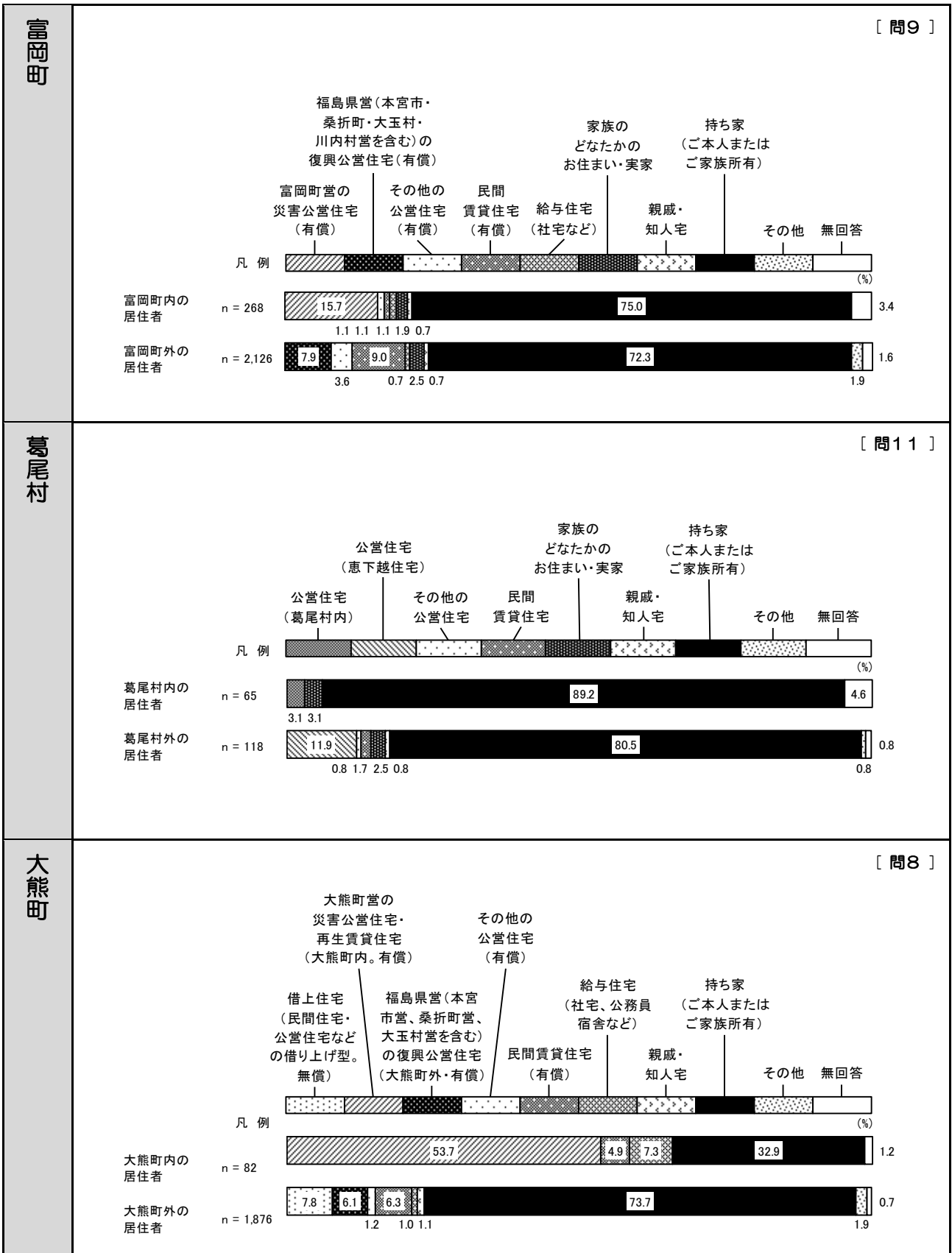
3-1 現在の状況

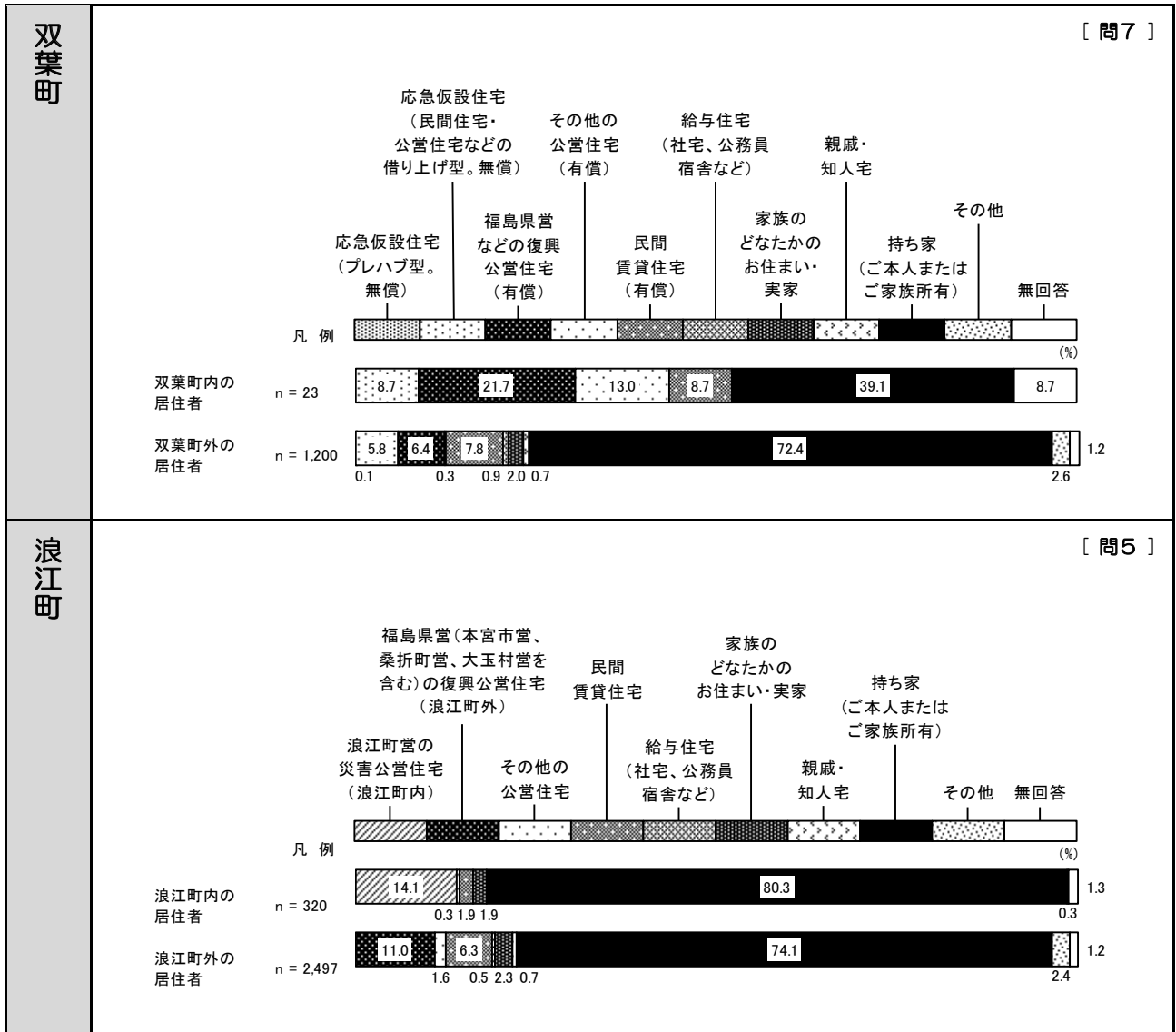
3-1-1 現在の住まいの場所



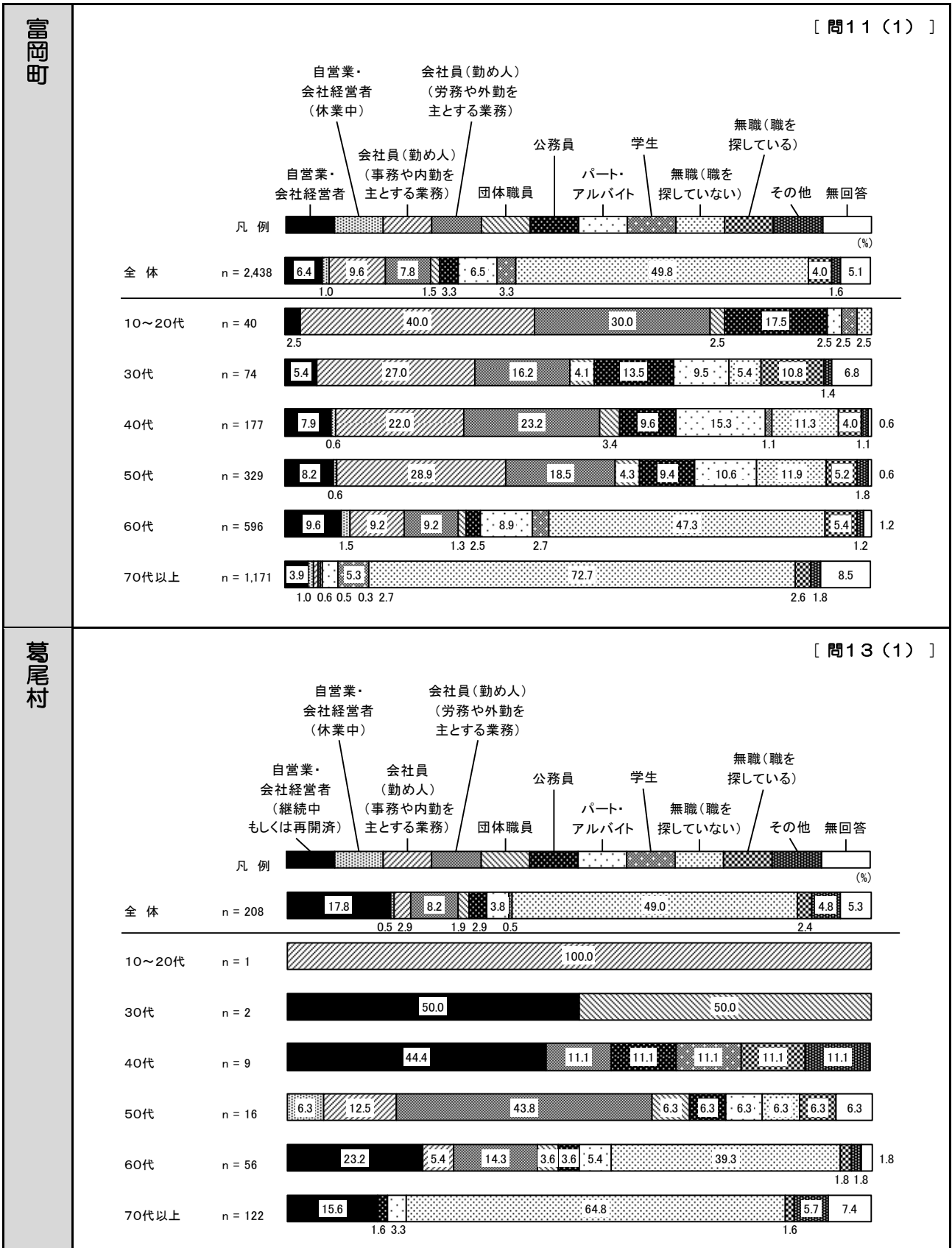


3-1-2 現在の住居形態



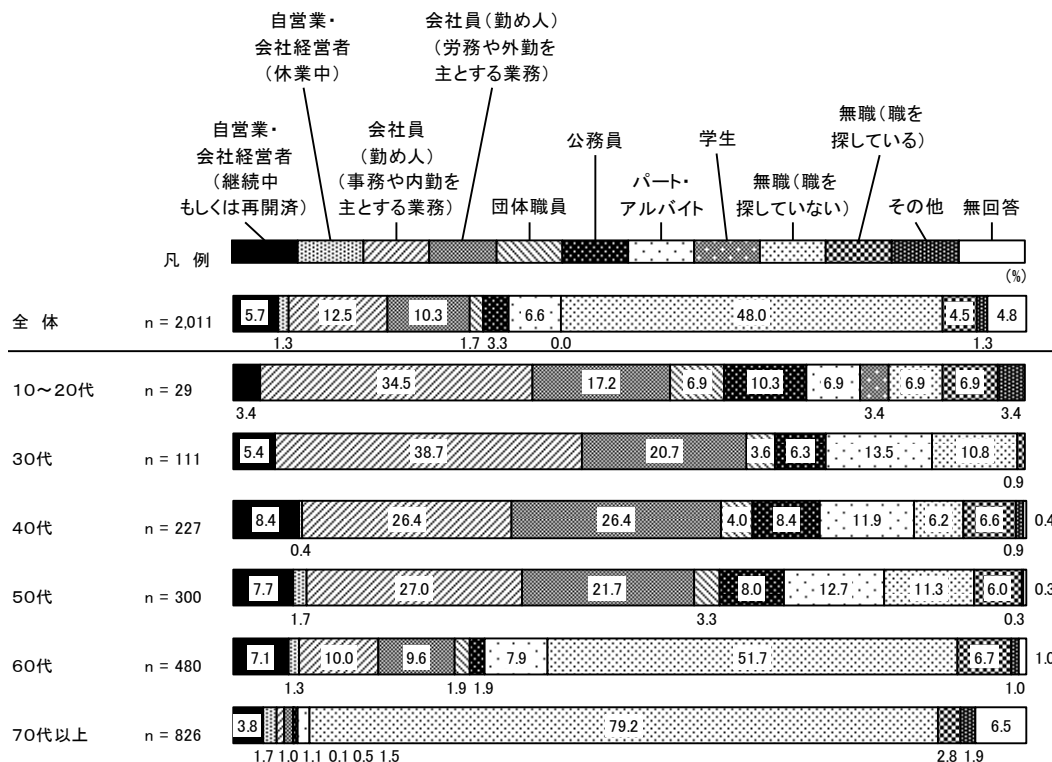


3-1-3 現在の職業（就業形態）



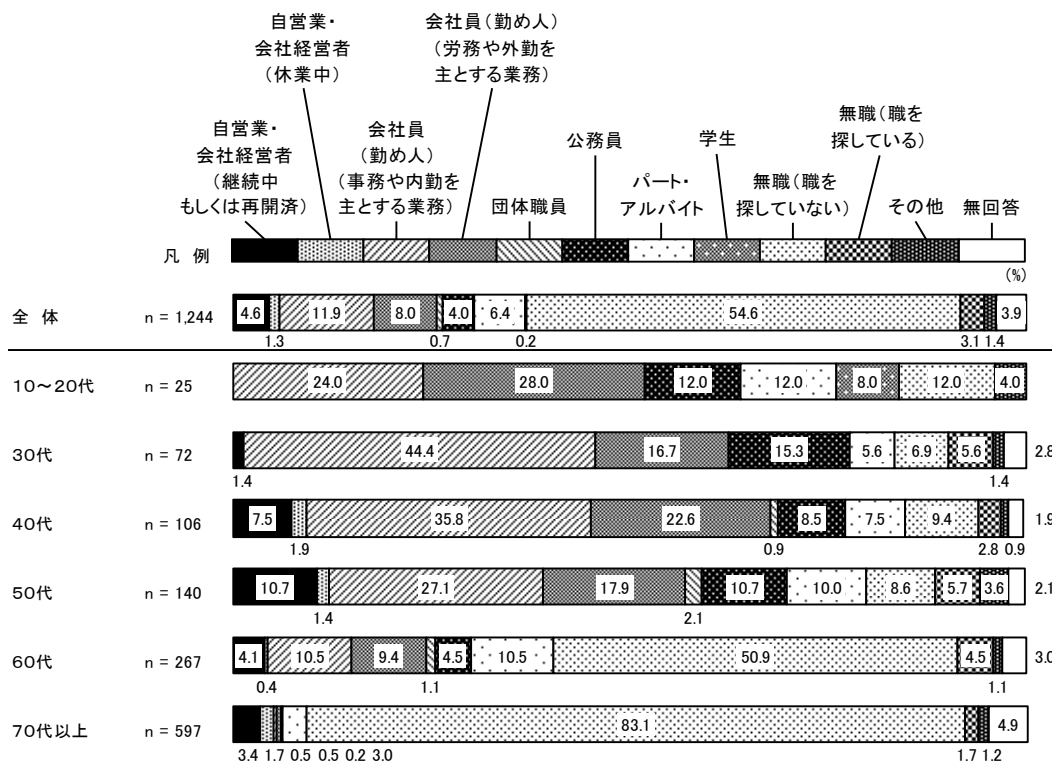
大熊町

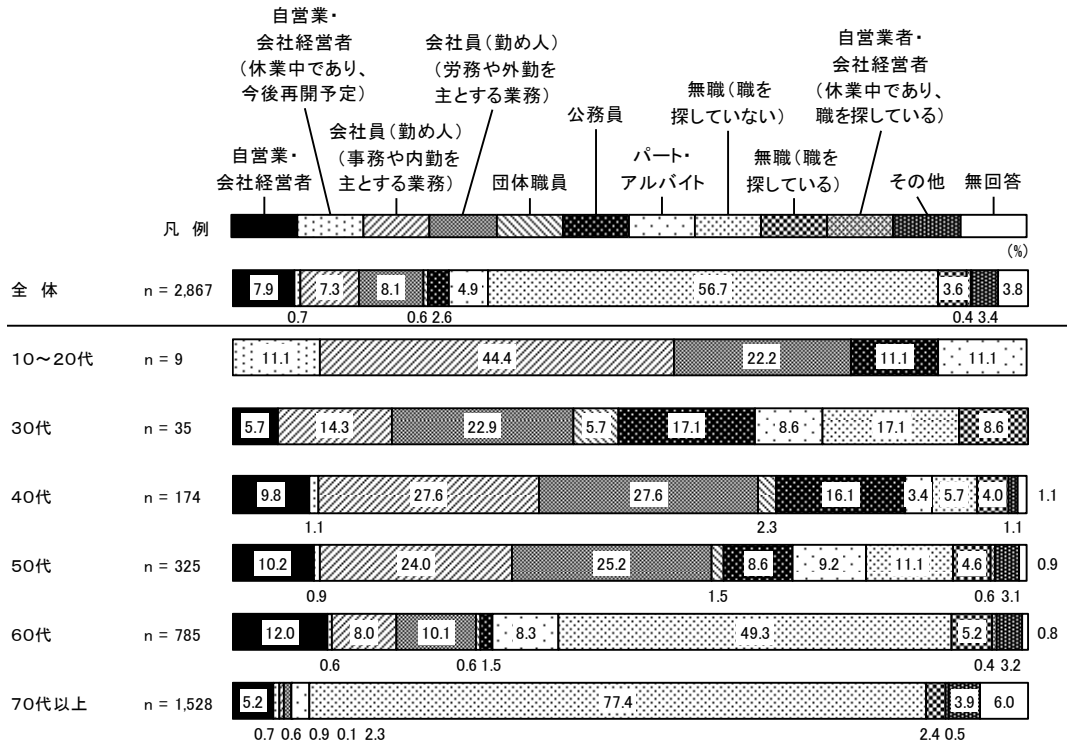
[問3 (1)]



双葉町

[問6 (1)]

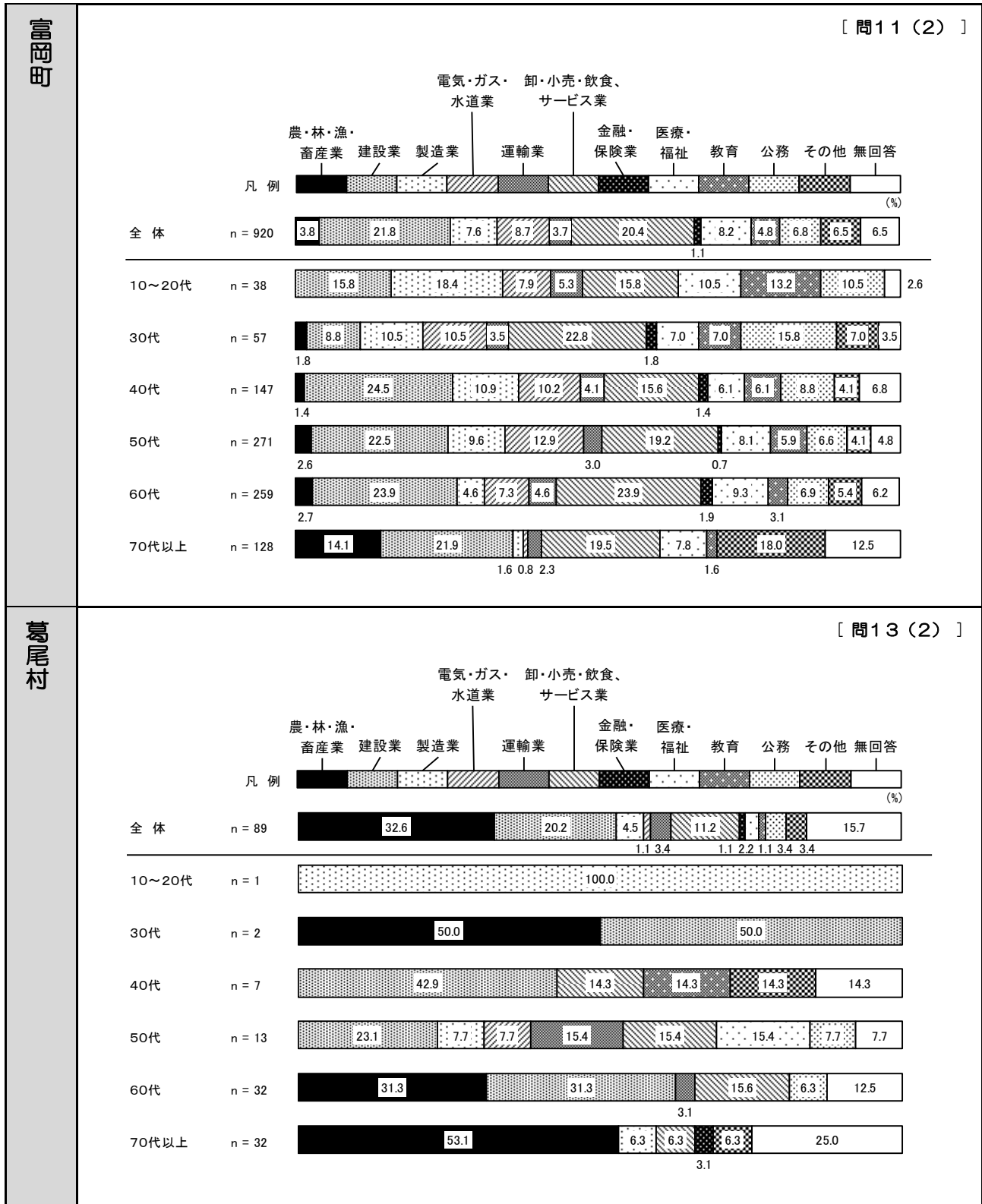




3-1-4 現在の業種

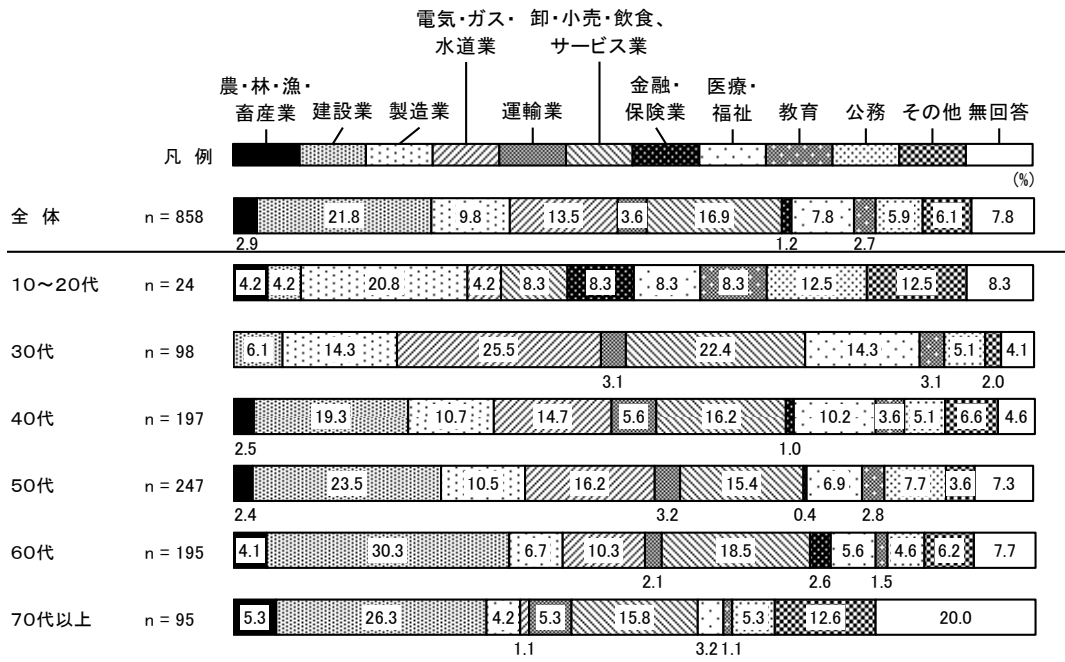
※富岡町、葛尾村、大熊町、双葉町は、現在の職業（就業形態）で「学生」「無職（職を探していない）」「無職（職を探している）」以外と回答した世帯のみ集計対象

※浪江町は、現在の職業（就業形態）で「自営業者・会社経営者（休業中であり、職を探している）」「無職（職を探していない）」「無職（職を探している）」以外と回答した世帯のみ集計対象



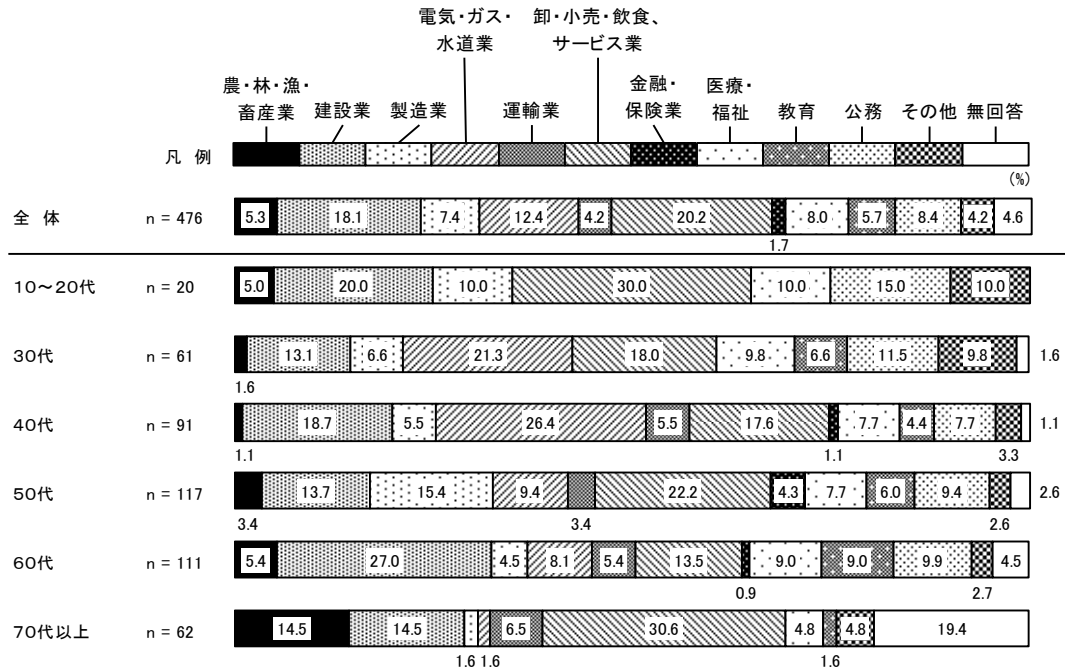
大熊町

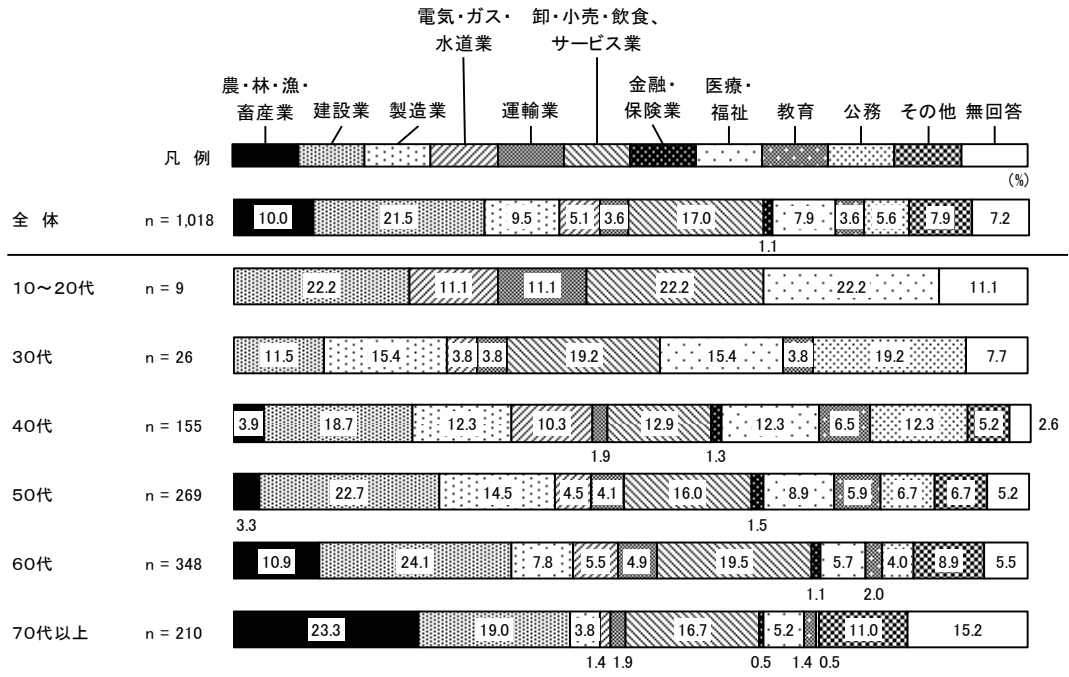
[問3 (2)]



双葉町

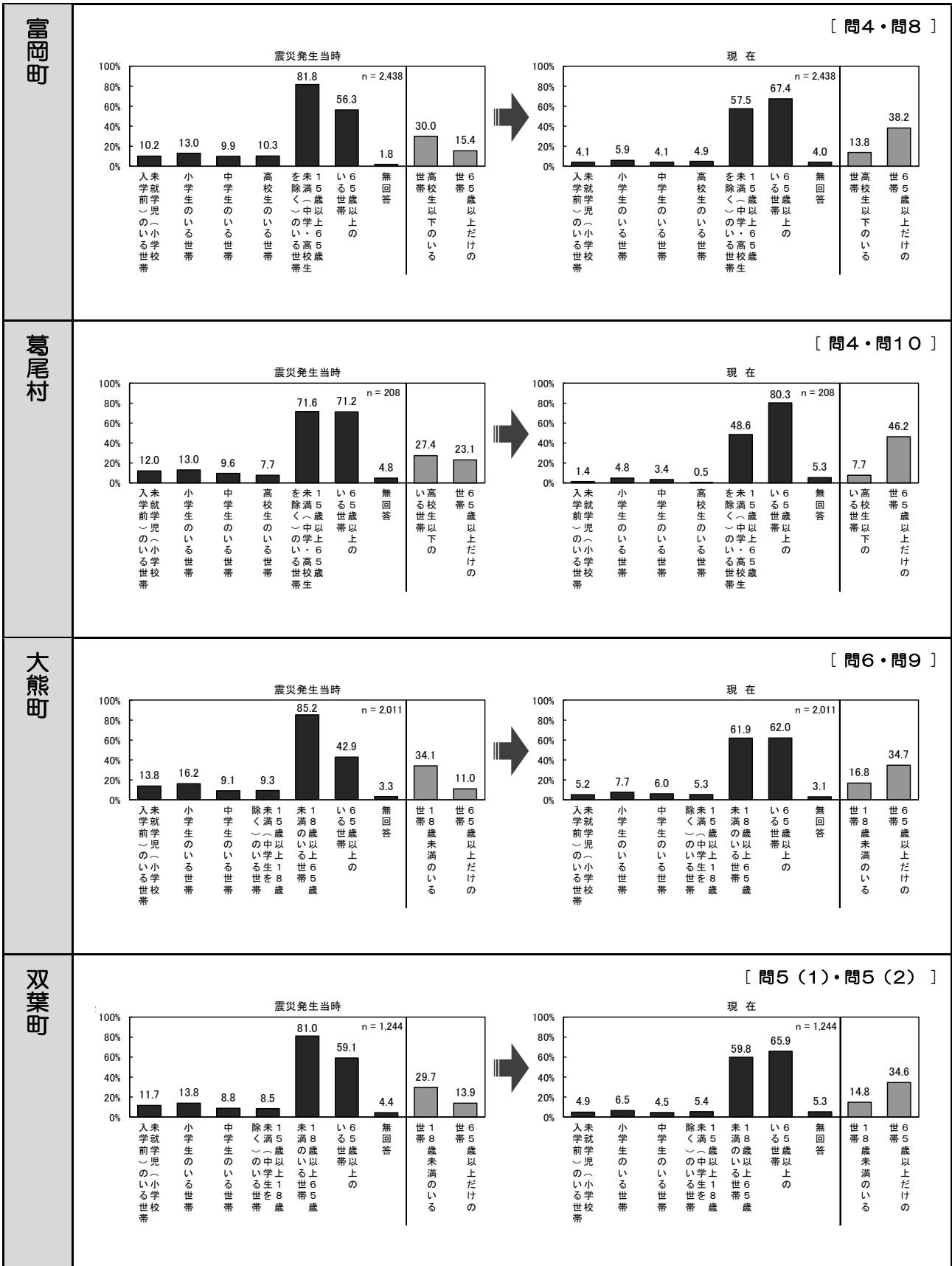
[問6 (2)]





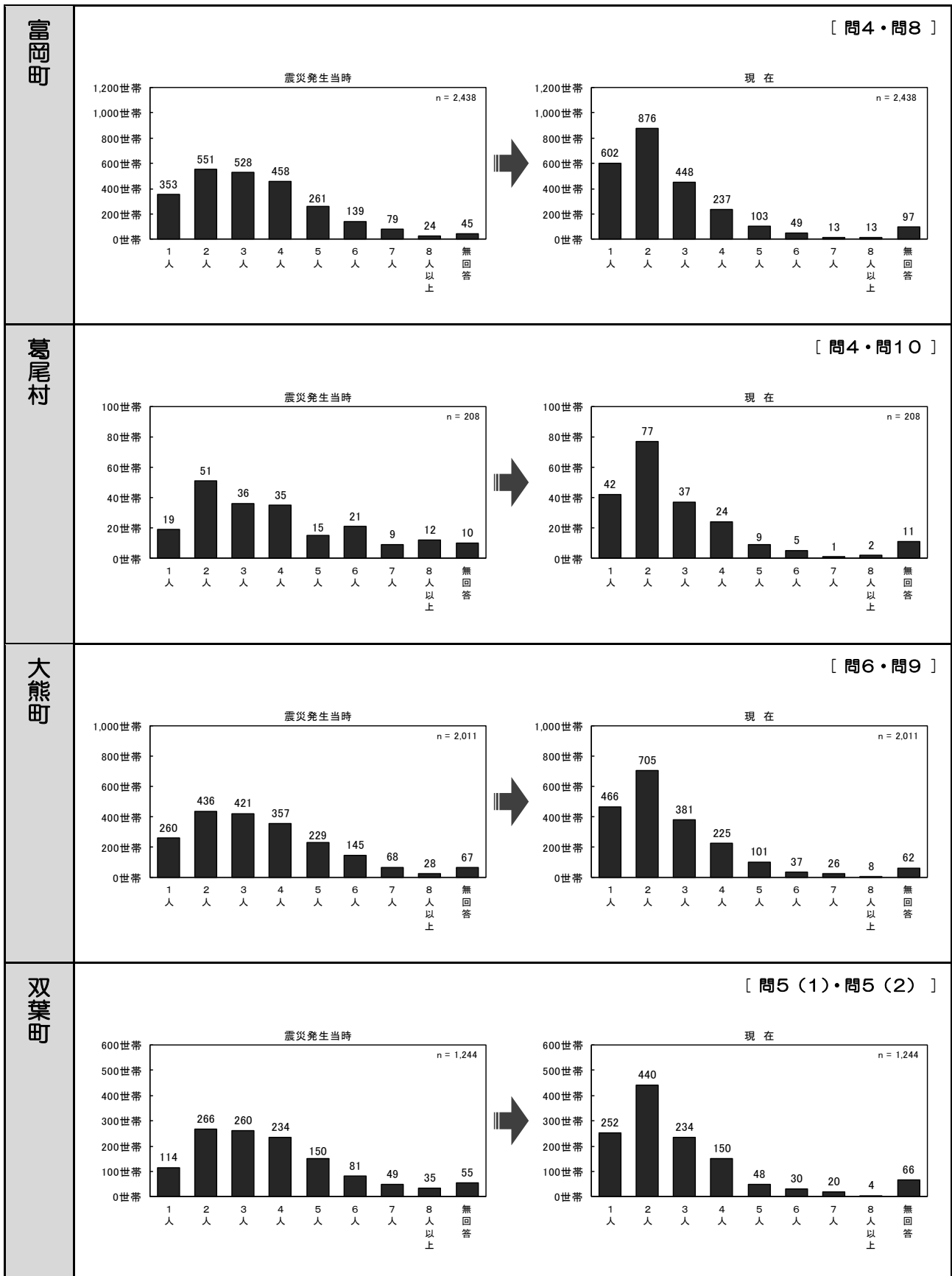
3-1-5 世帯構成

※対象町村：富岡町、葛尾村、大熊町、双葉町

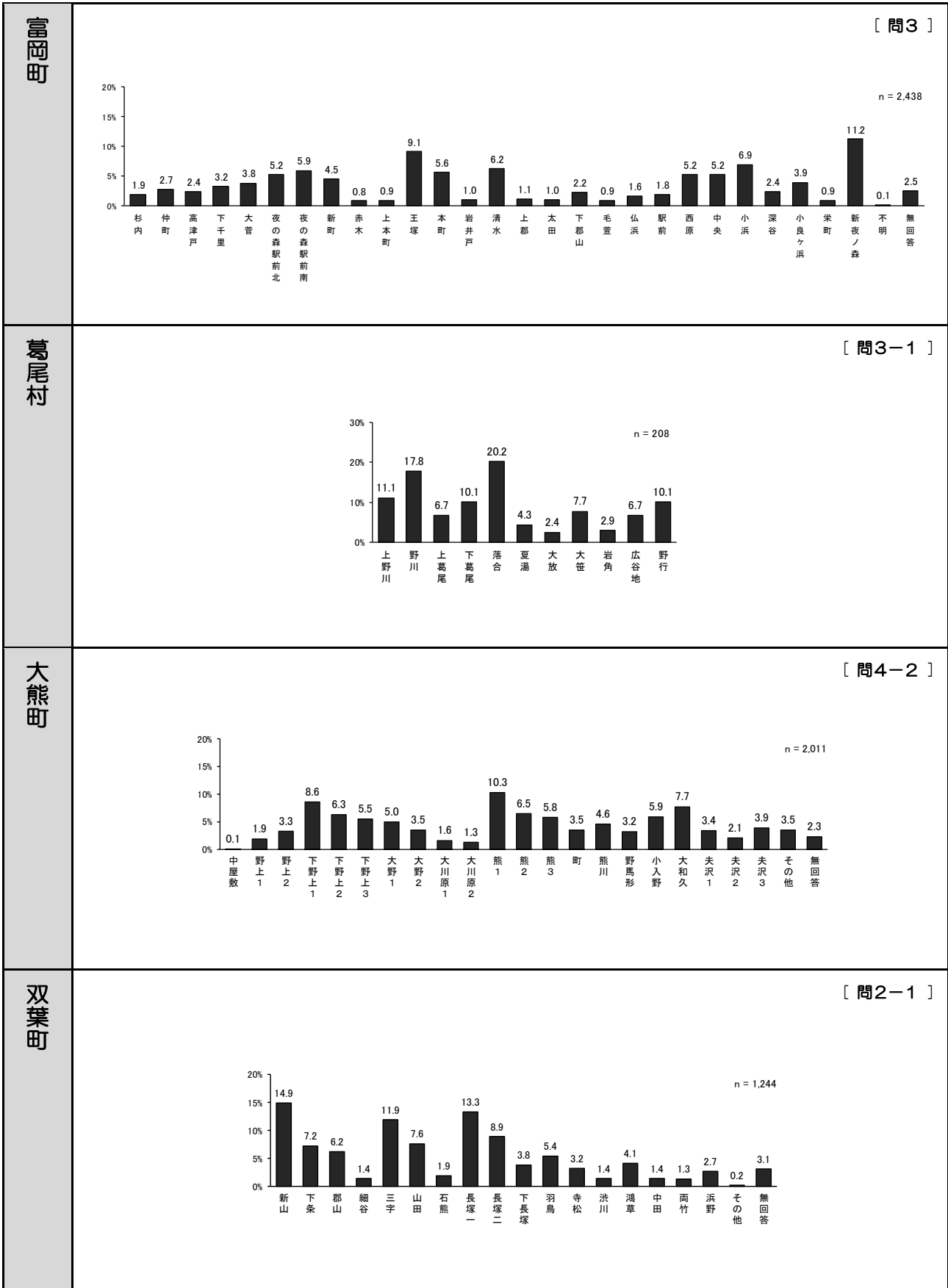


3-1-6 世帯人数

※対象町村：富岡町、葛尾村、大熊町、双葉町

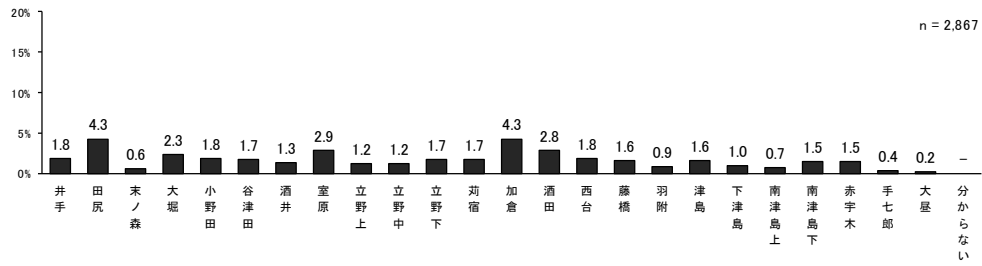
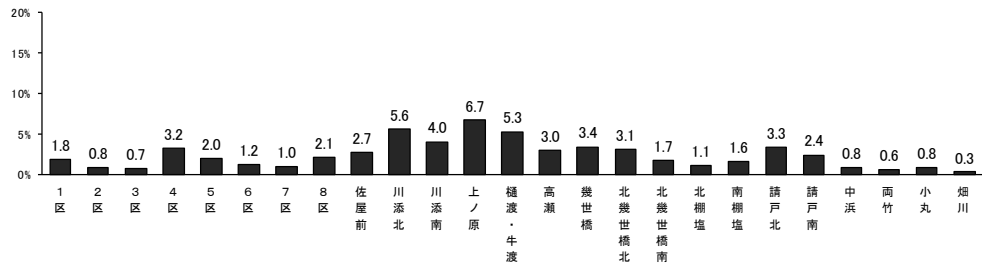


3-1-7 震災発生当時の住まいの行政区



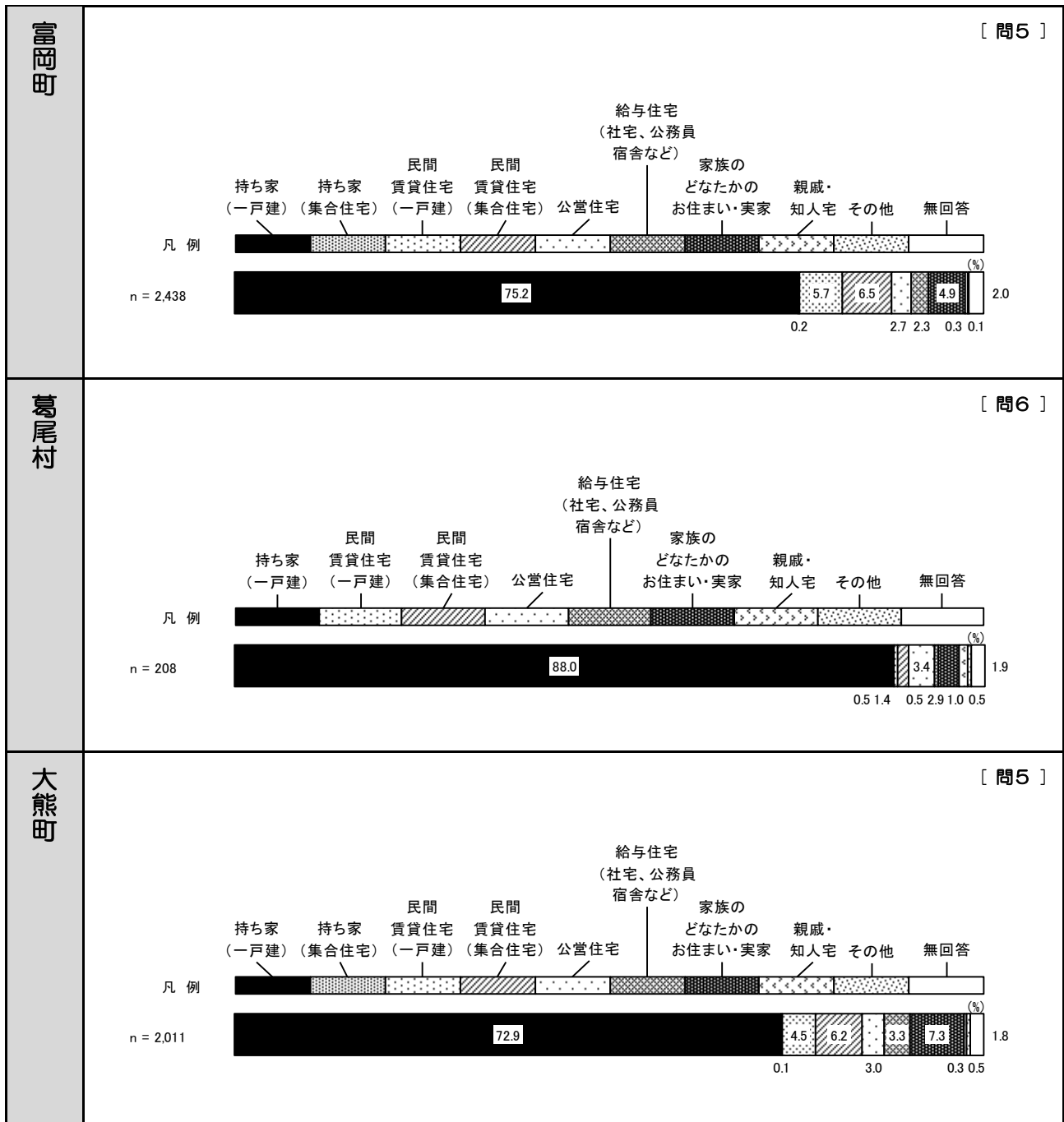
浪江町

[問3]



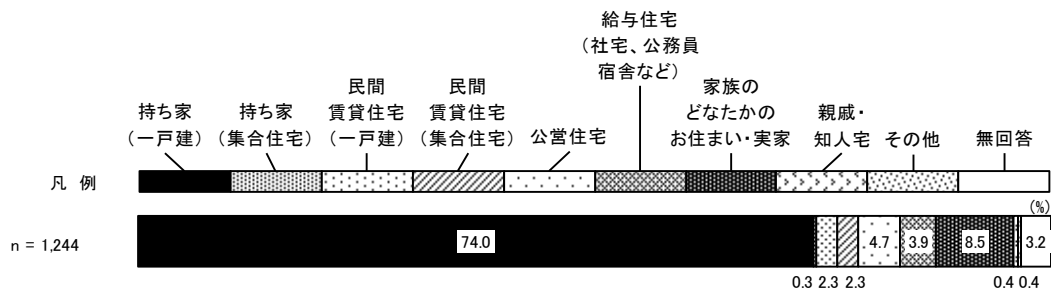
3-1-8 震災発生当時の住居形態

※対象町村：富岡町、葛尾村、大熊町、双葉町



双葉町

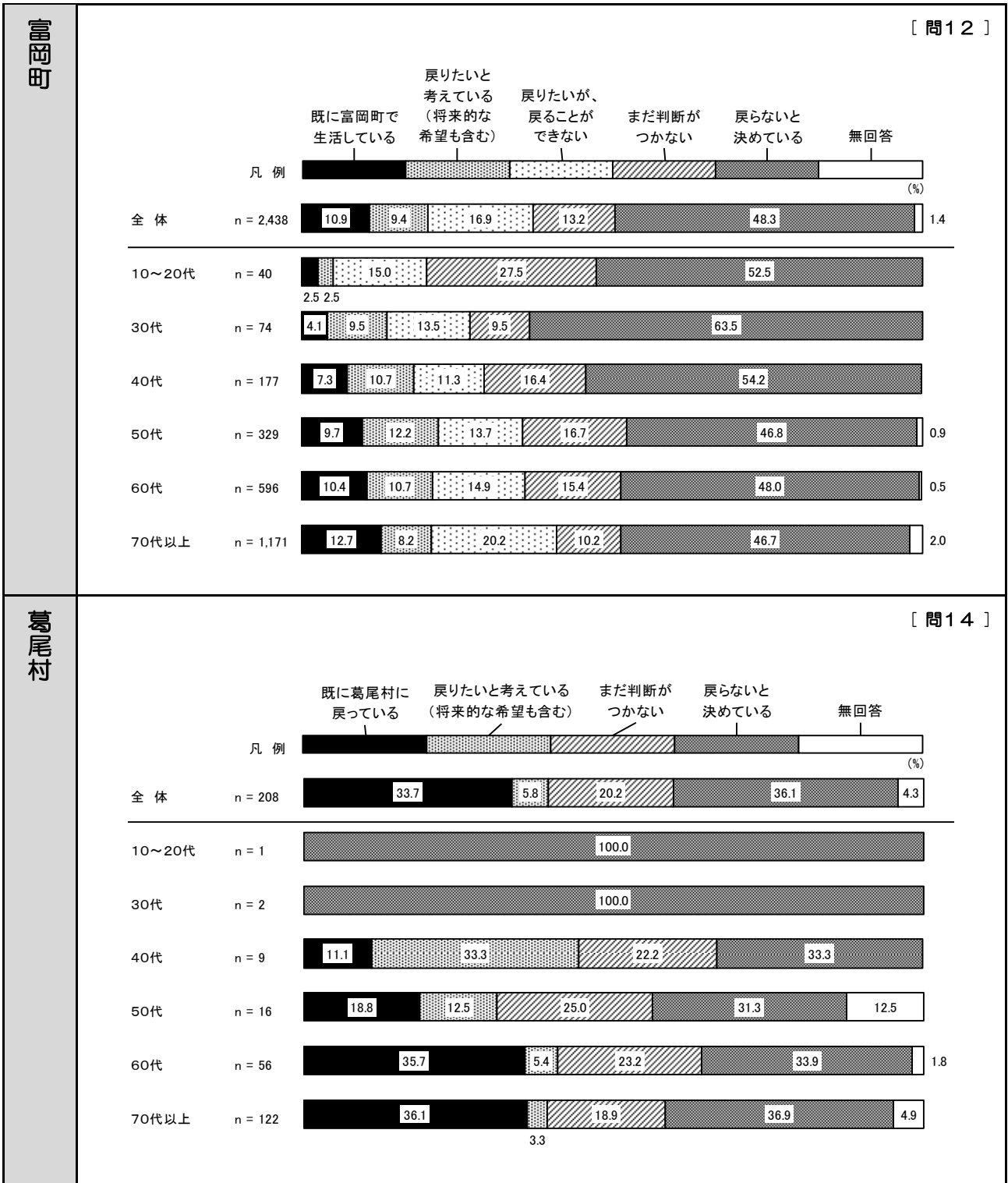
[問3]



3-2 将来の意向

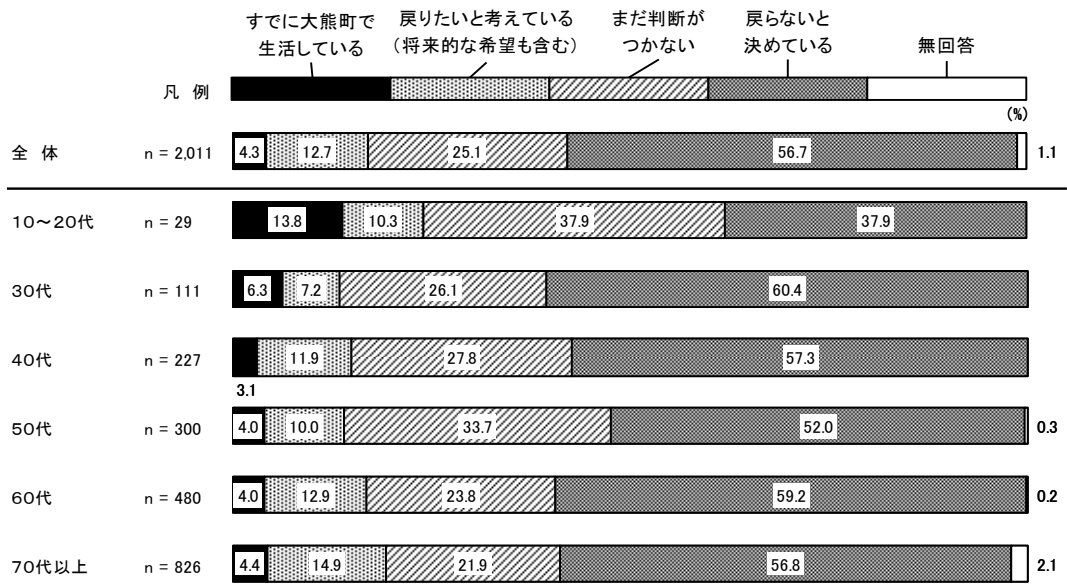
3-2-1 帰還意向

(1) 年齢別帰還意向



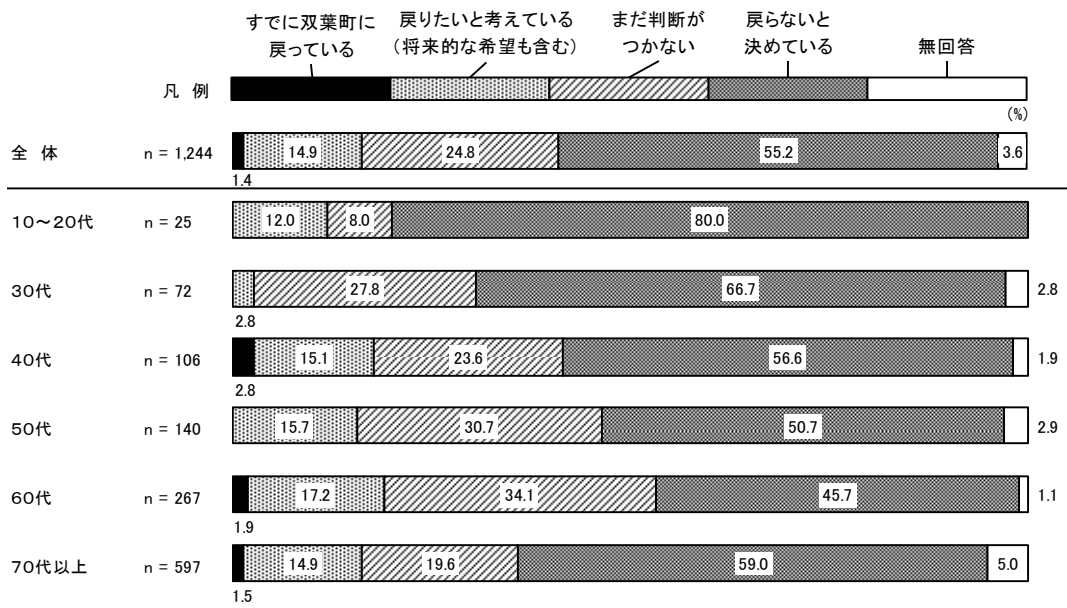
大熊町

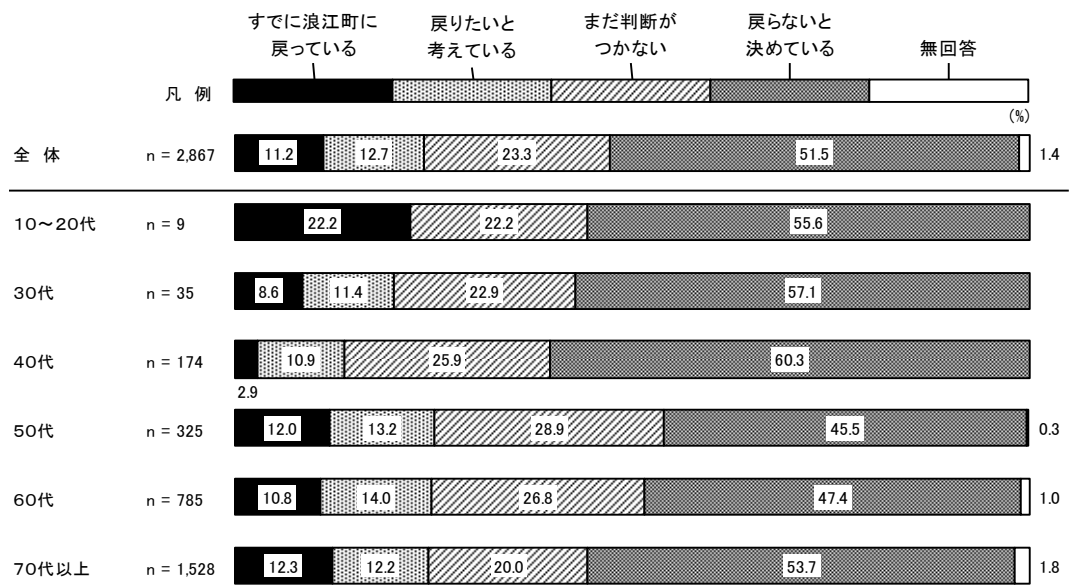
[問12]



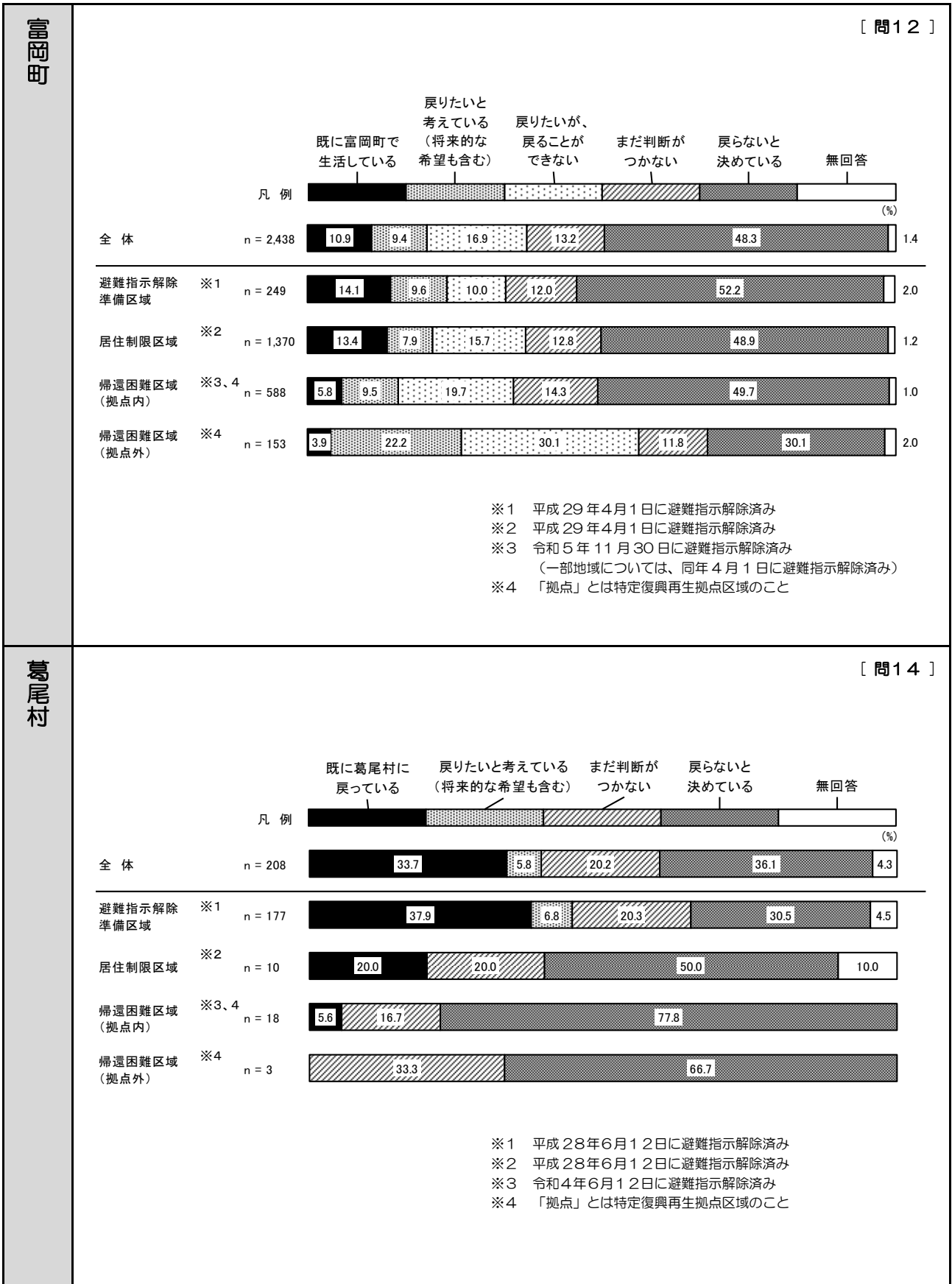
双葉町

[問10]



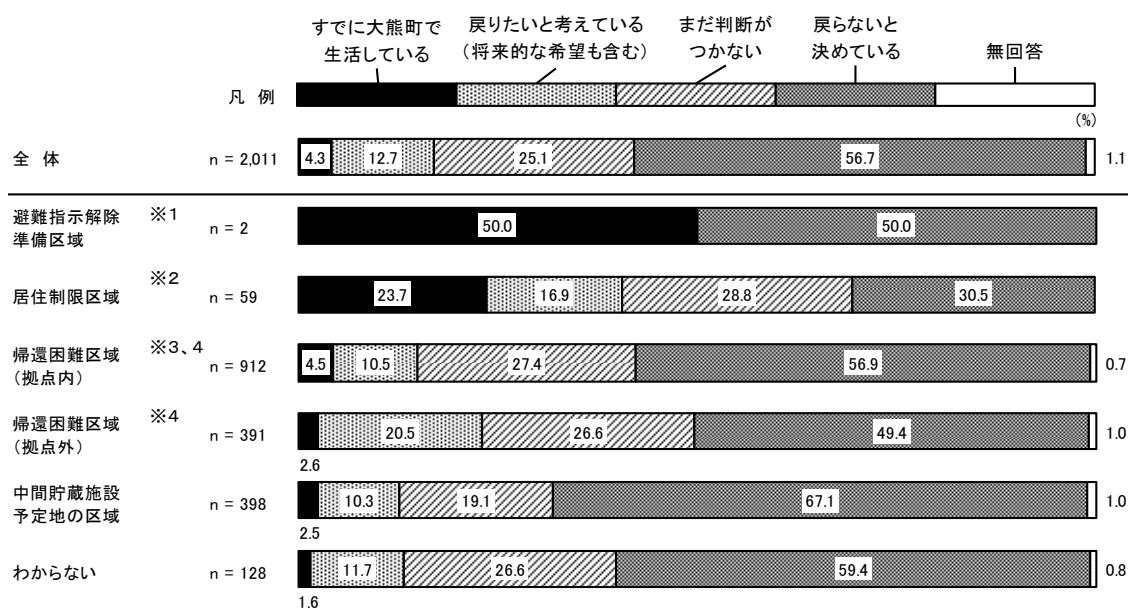


(2) 避難指示区域別帰還意向



大熊町

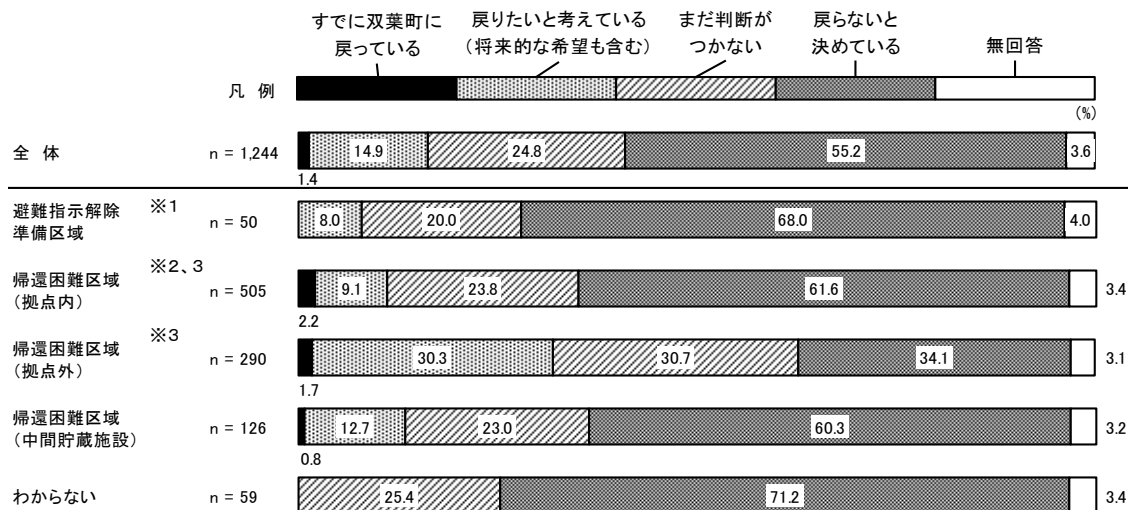
[問12]



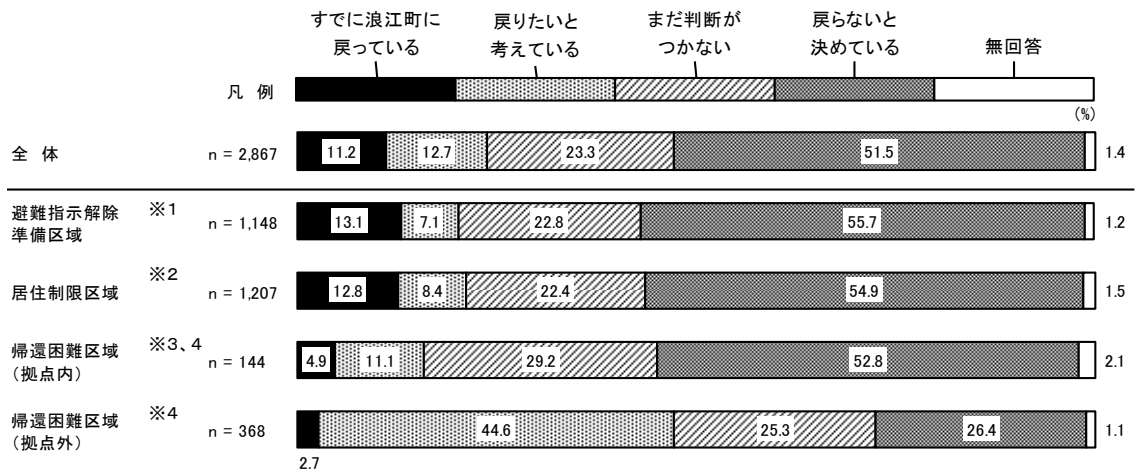
※1 平成31年4月10日に避難指示解除済み
 ※2 平成31年4月10日に避難指示解除済み
 ※3 令和4年6月30日に避難指示解除済み
 ※4 「拠点」とは特定復興再生拠点区域のこと

双葉町

[問10]



※1 令和2年3月4日に避難指示解除済み
 ※2 令和4年8月30日に避難指示解除済み
 ※3 「拠点」とは特定復興再生拠点区域のこと



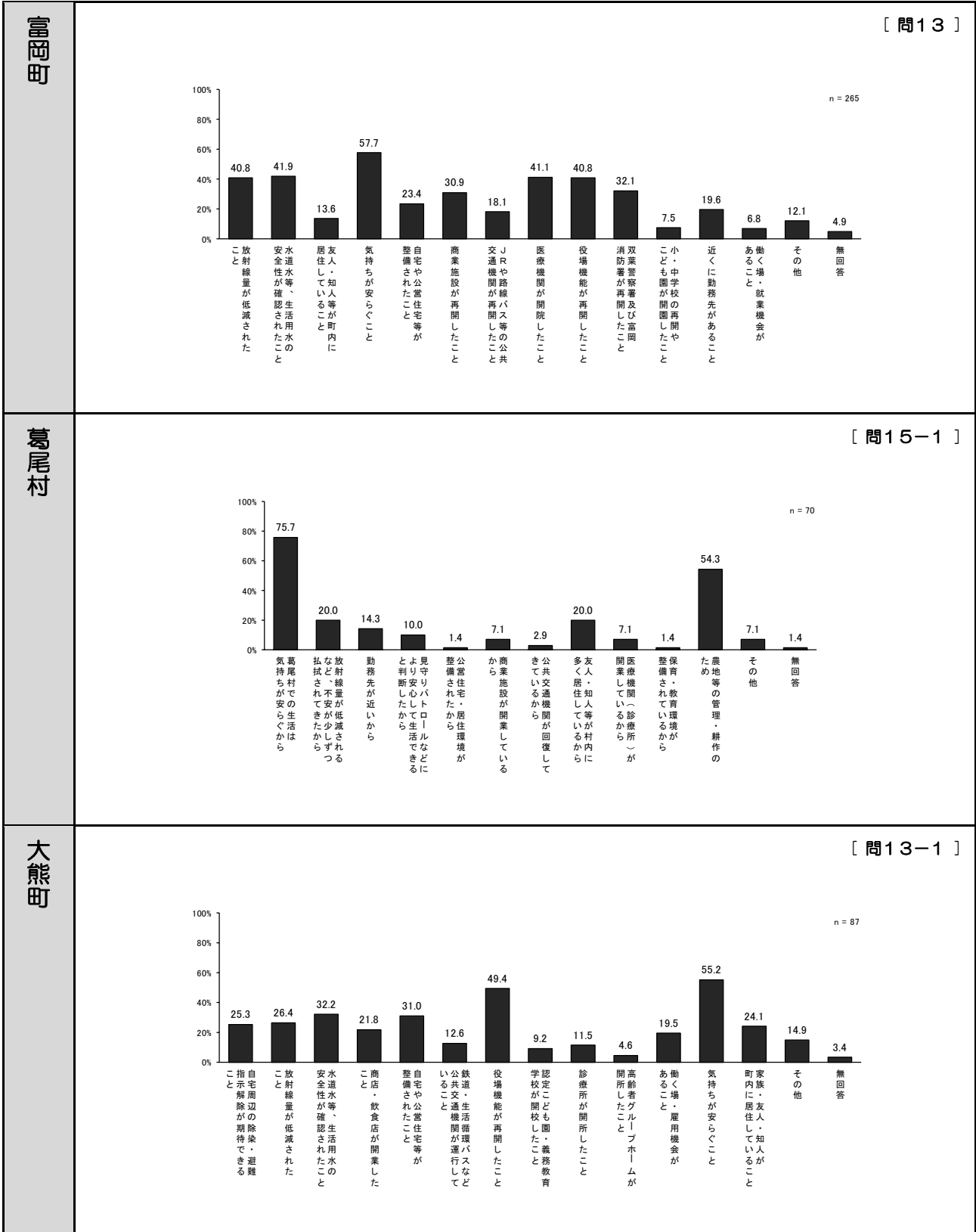
- ※1 平成 29 年 3 月 31 日に避難指示解除済み
- ※2 平成 29 年 3 月 31 日に避難指示解除済み
- ※3 令和 5 年 3 月 31 日に避難指示解除済み
- ※4 「拠点」とは特定復興再生拠点区域のこと

3-2-2 帰還を決めた理由〔すでに帰還した方〕

※対象町村：富岡町、葛尾村、大熊町、浪江町

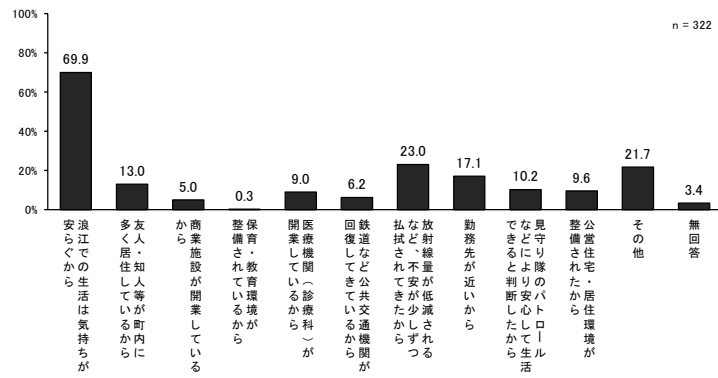
※帰還意向で「元の自治体に戻っている」と回答した世帯のみ集計対象

※大熊町は、帰還意向で「すでに大熊町で生活している」「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した世帯への設問だが、「すでに大熊町で生活している」と回答した世帯のみを抽出して集計



浪江町

[問 7]

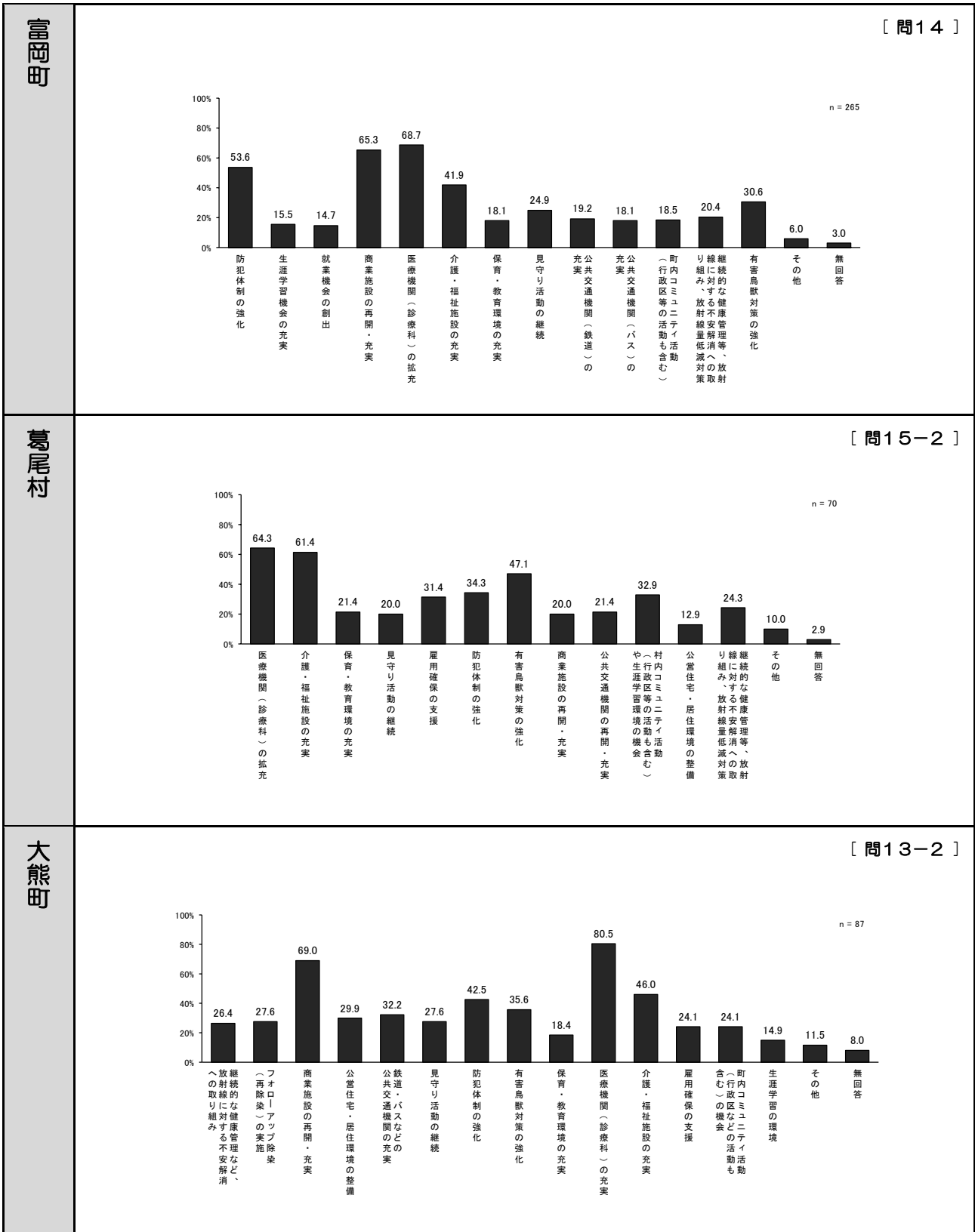


3-2-3 今後の生活において必要な支援〔すでに帰還した方〕

※対象町村：富岡町、葛尾村、大熊町、浪江町

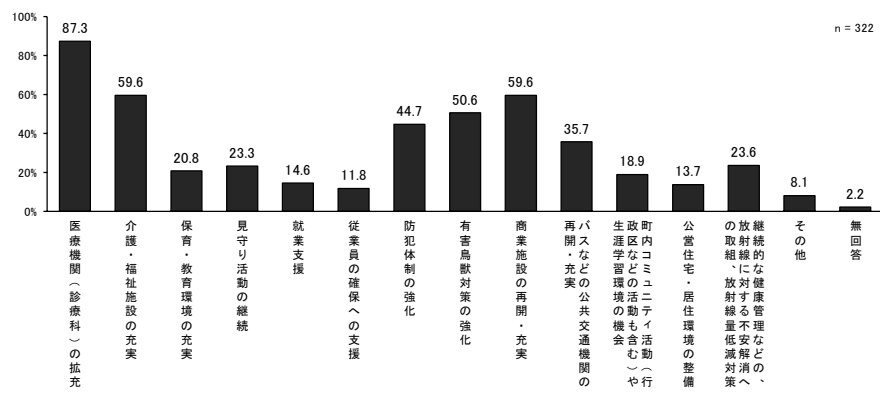
※帰還意向で「元の自治体に戻っている」と回答した世帯のみ集計対象

※大熊町は、帰還意向で「すでに大熊町で生活している」「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した世帯への設問だが、「すでに大熊町で生活している」と回答した世帯のみを抽出して集計



浪江町

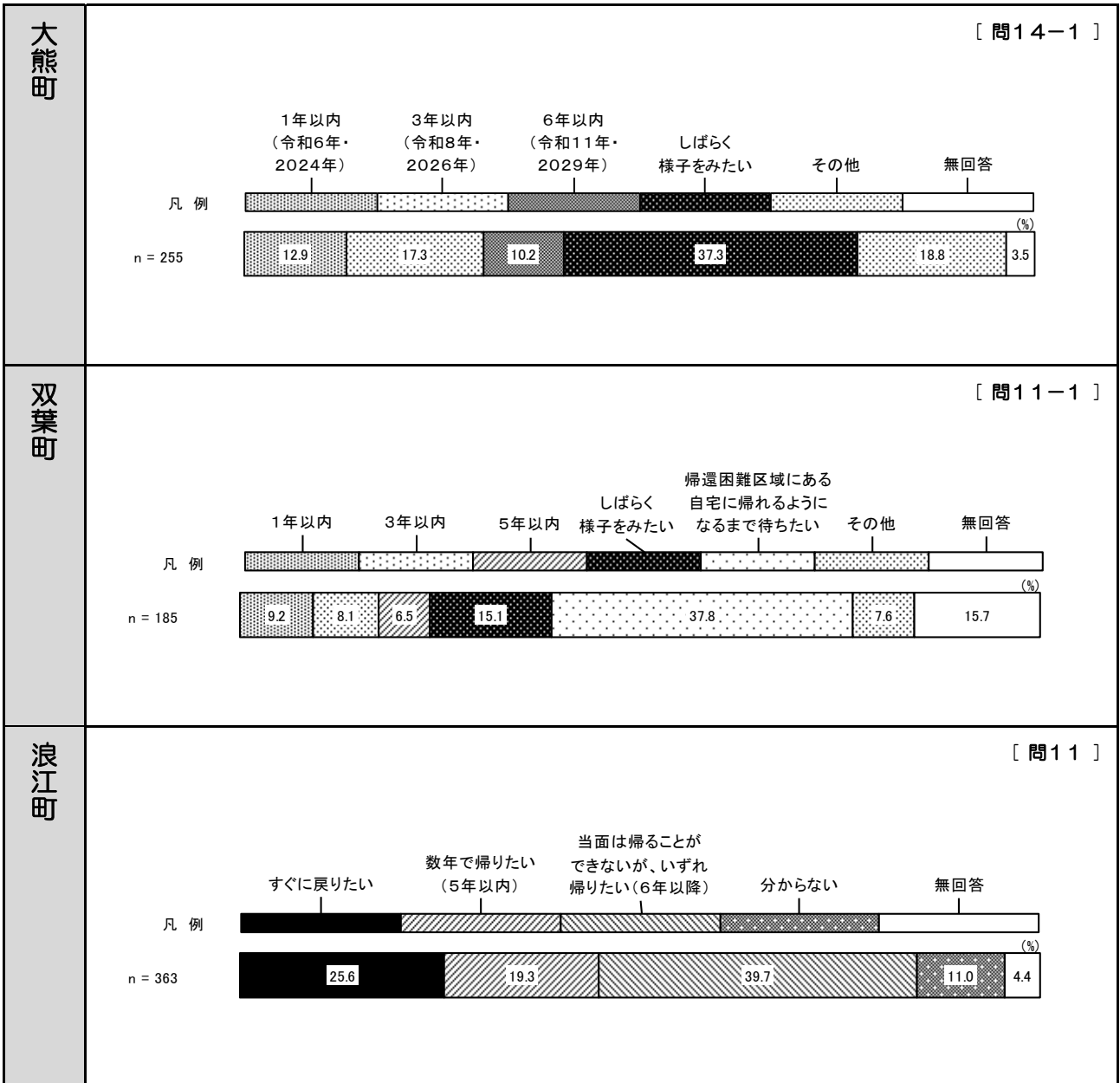
[問8]



3-2-4 帰還時期〔帰還したい方〕

※対象町：大熊町、双葉町、浪江町

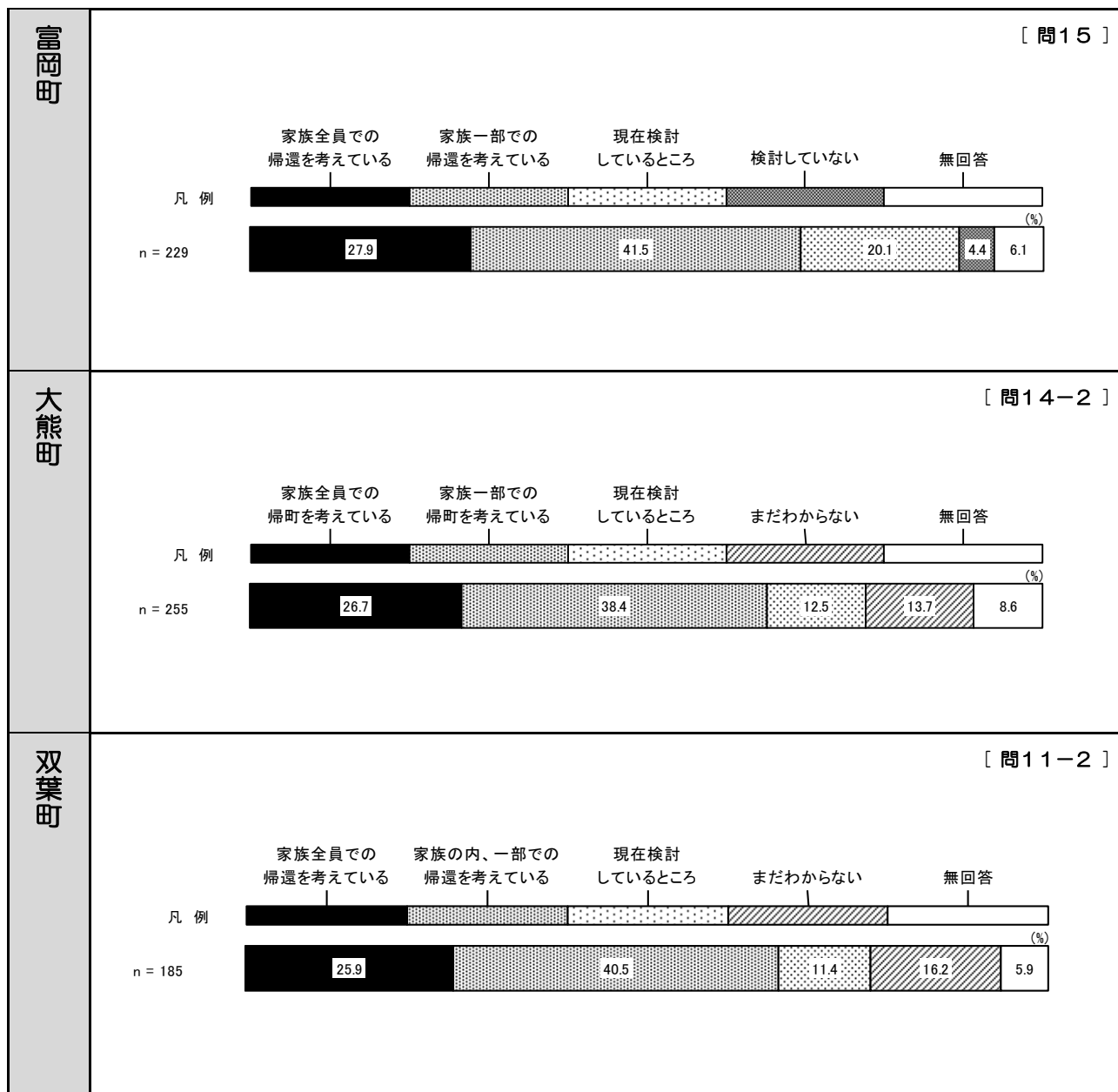
※帰還意向で「戻りたい」と回答した世帯のみ集計対象



3-2-5 帰還する場合の家族〔帰還したい方〕

※対象町：富岡町、大熊町、双葉町

※帰還意向で「戻りたい」と回答した世帯のみ集計対象

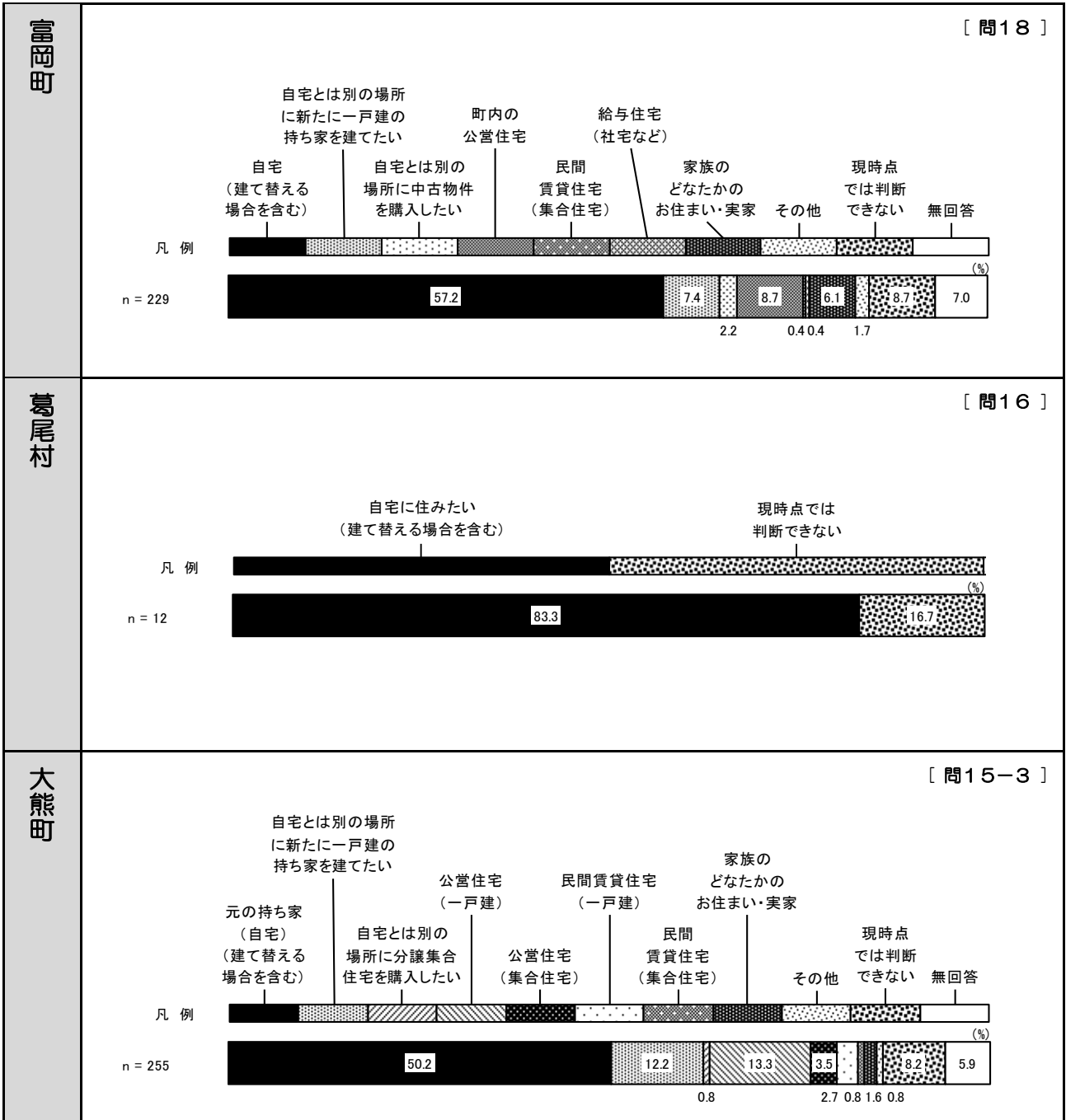


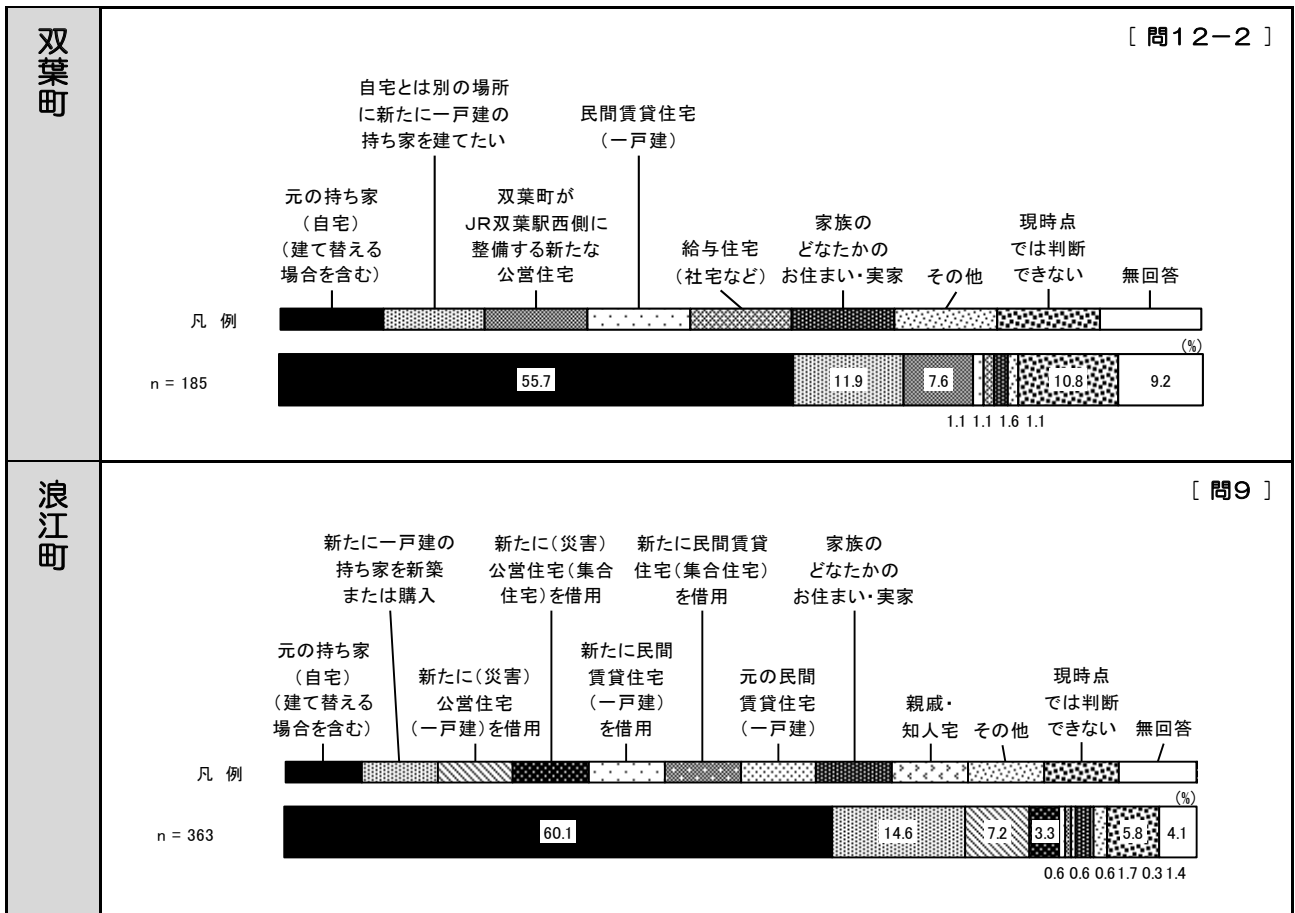
3-2-6 帰還した場合に希望する住居形態〔帰還したい方〕

※帰還意向で「戻りたい」と回答した世帯のみ集計対象

※双葉町は、帰還意向で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した世帯への設問だが、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した世帯のみを抽出して集計

※大熊町は、帰還意向で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した世帯への設問だが、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した世帯のみを抽出して集計





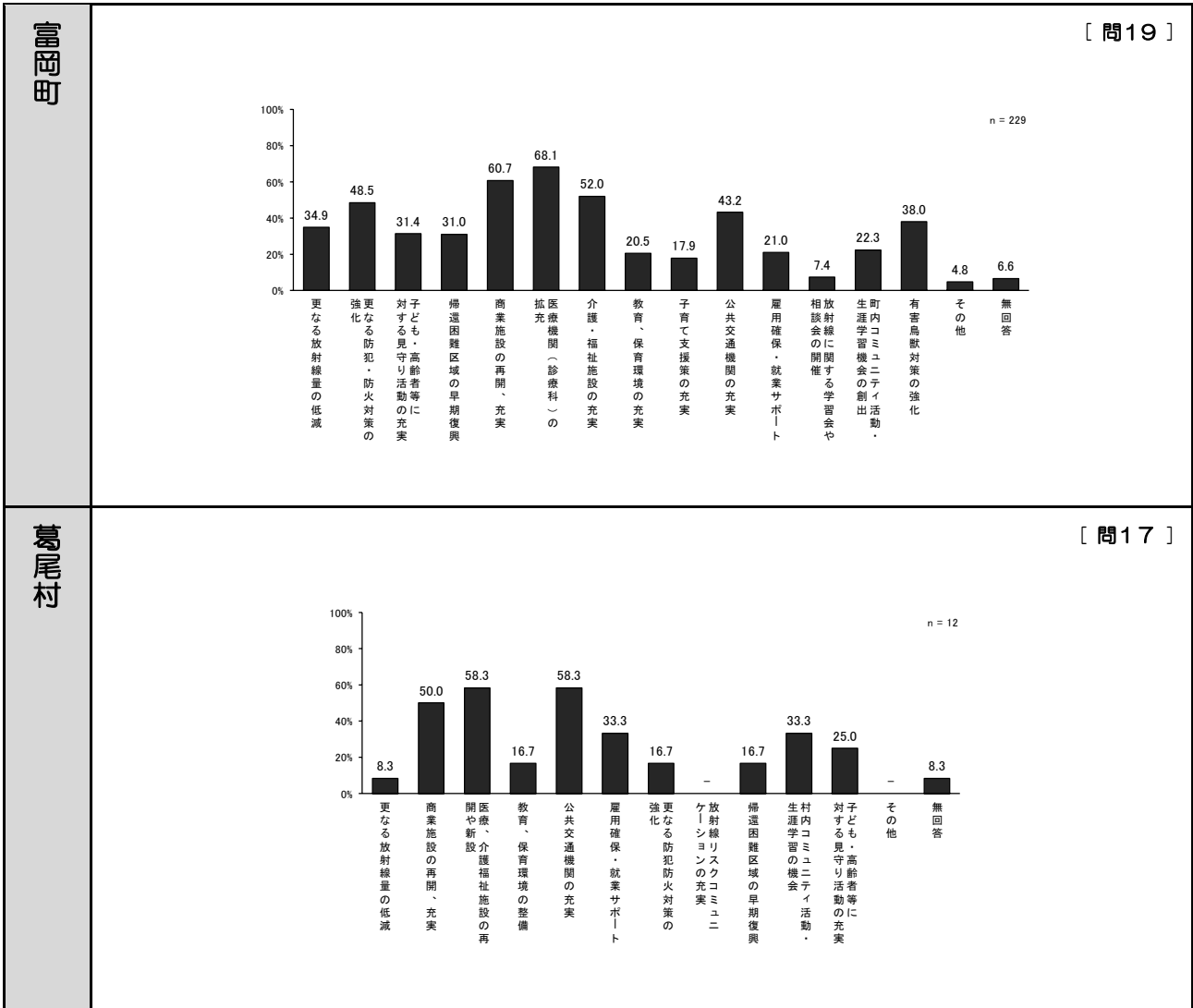
3-2-7 帰還した場合に今後の生活において必要な支援〔帰還したい方〕

※帰還意向で「戻りたい」と回答した世帯のみ集計対象

※大熊町は、帰還意向で「すでに大熊町で生活している」「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した世帯への設問だが、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した世帯のみを抽出して集計

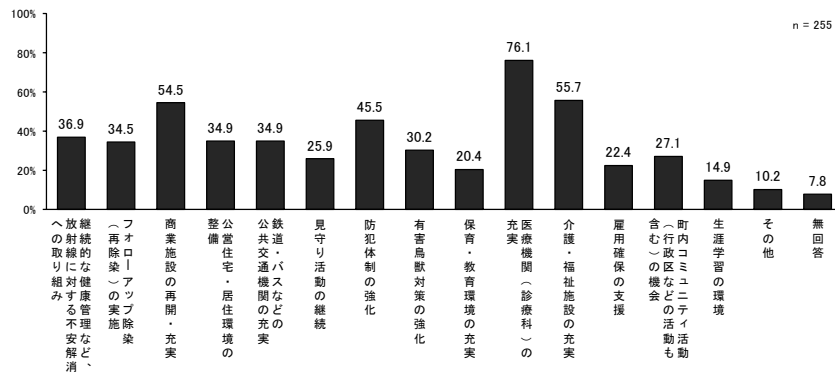
※双葉町は、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した世帯への設問だが、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した世帯のみを抽出し、優先順位1番目から3番目を合算

※浪江町は、帰還時期で「すぐに戻りたい」と回答した世帯のみ集計対象



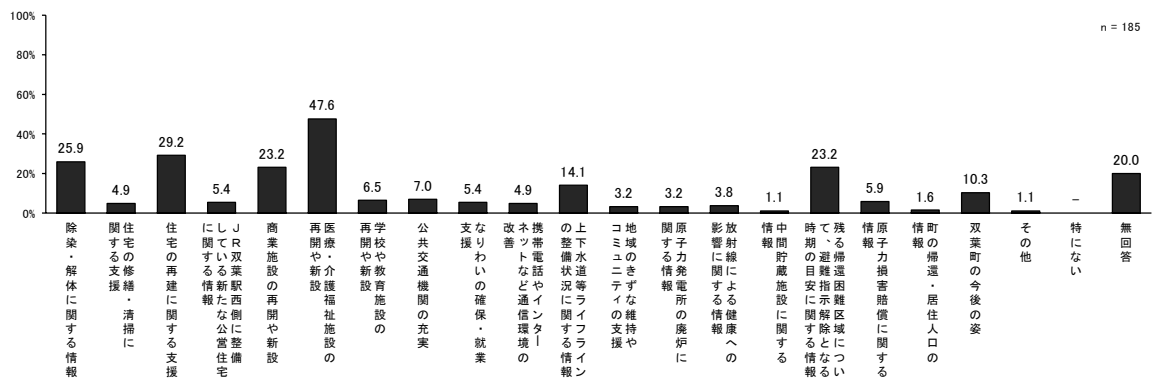
大熊町

[問13-2]



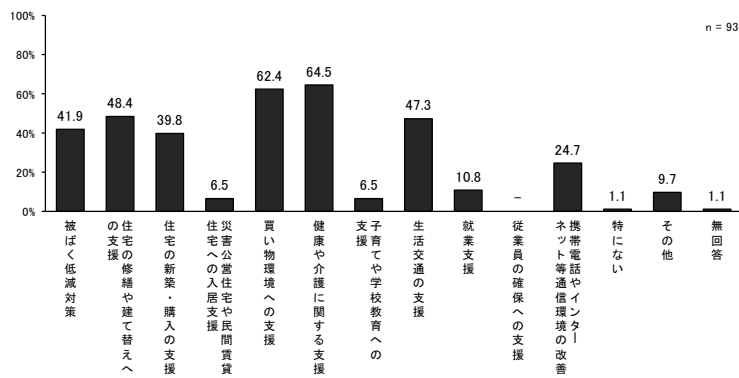
双葉町

[問12-1]



浪江町

[問11-1]

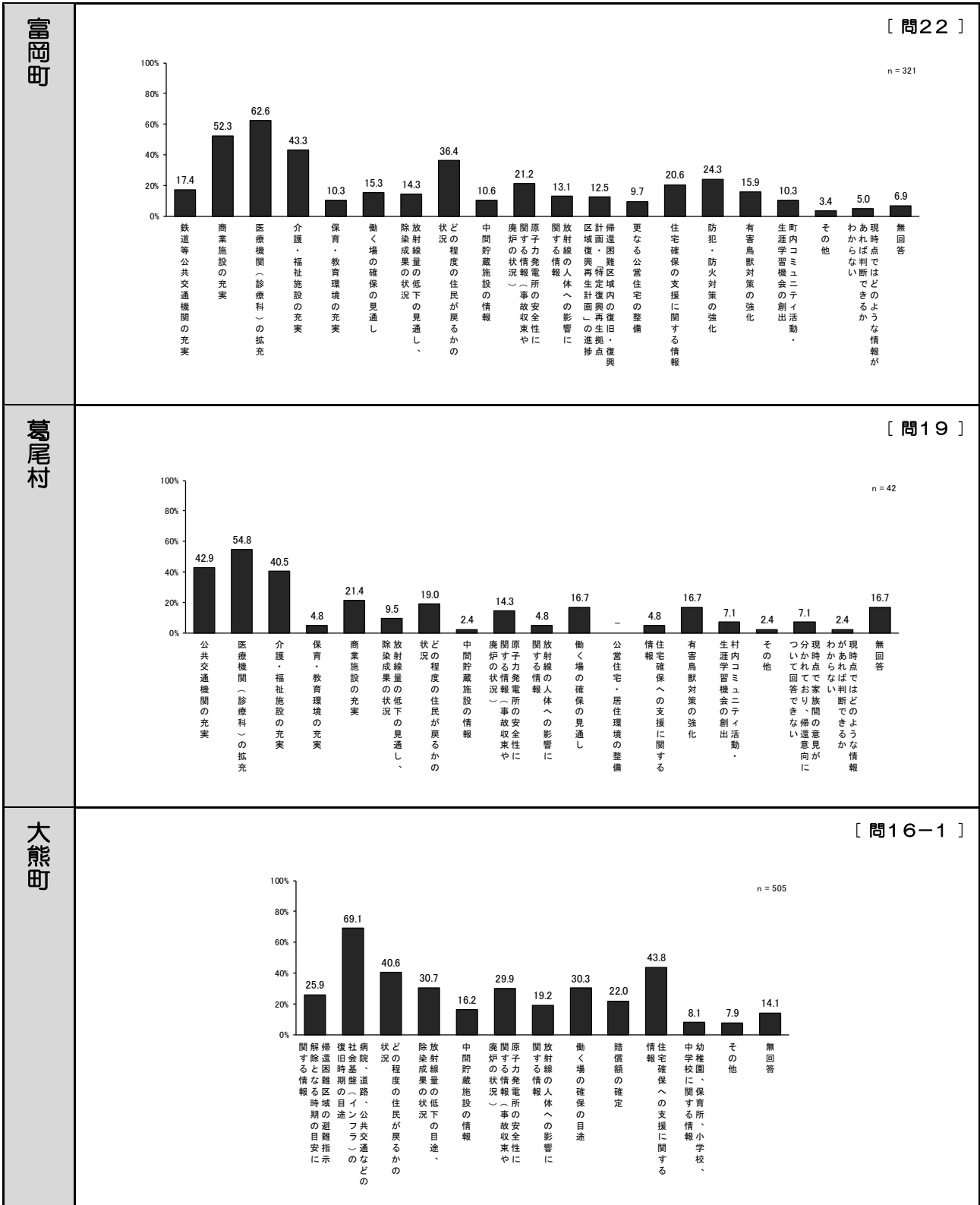


3-2-8 帰還を判断するために必要な条件〔帰還の判断がつかない方〕

※対象町村：富岡町、葛尾村、大熊町、双葉町

※帰還意向で「まだ判断がつかない」と回答した世帯のみ集計対象

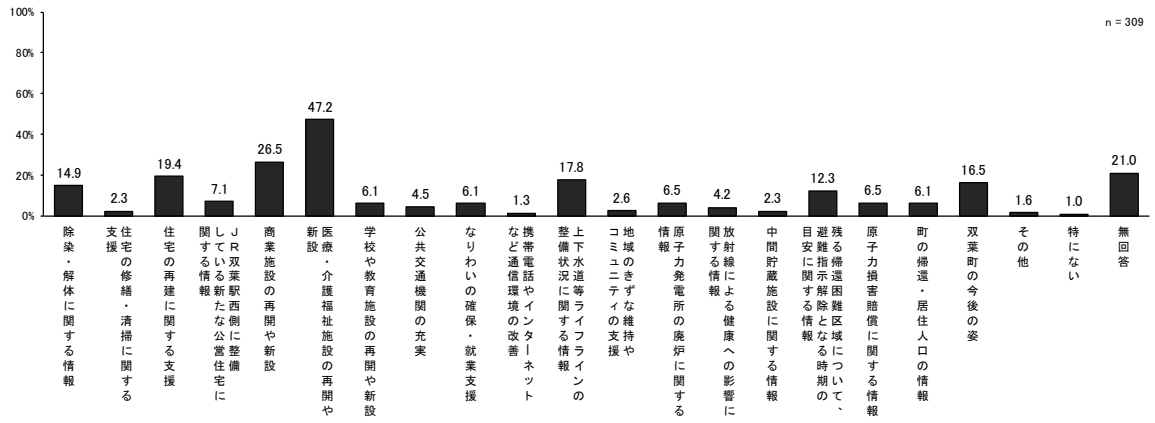
※双葉町は、帰還意向で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した世帯への設問だが、「まだ判断がつかない」と回答した世帯のみを抽出し、優先順位 1 番目から 3 番目を合算



双葉町

[問12-1]

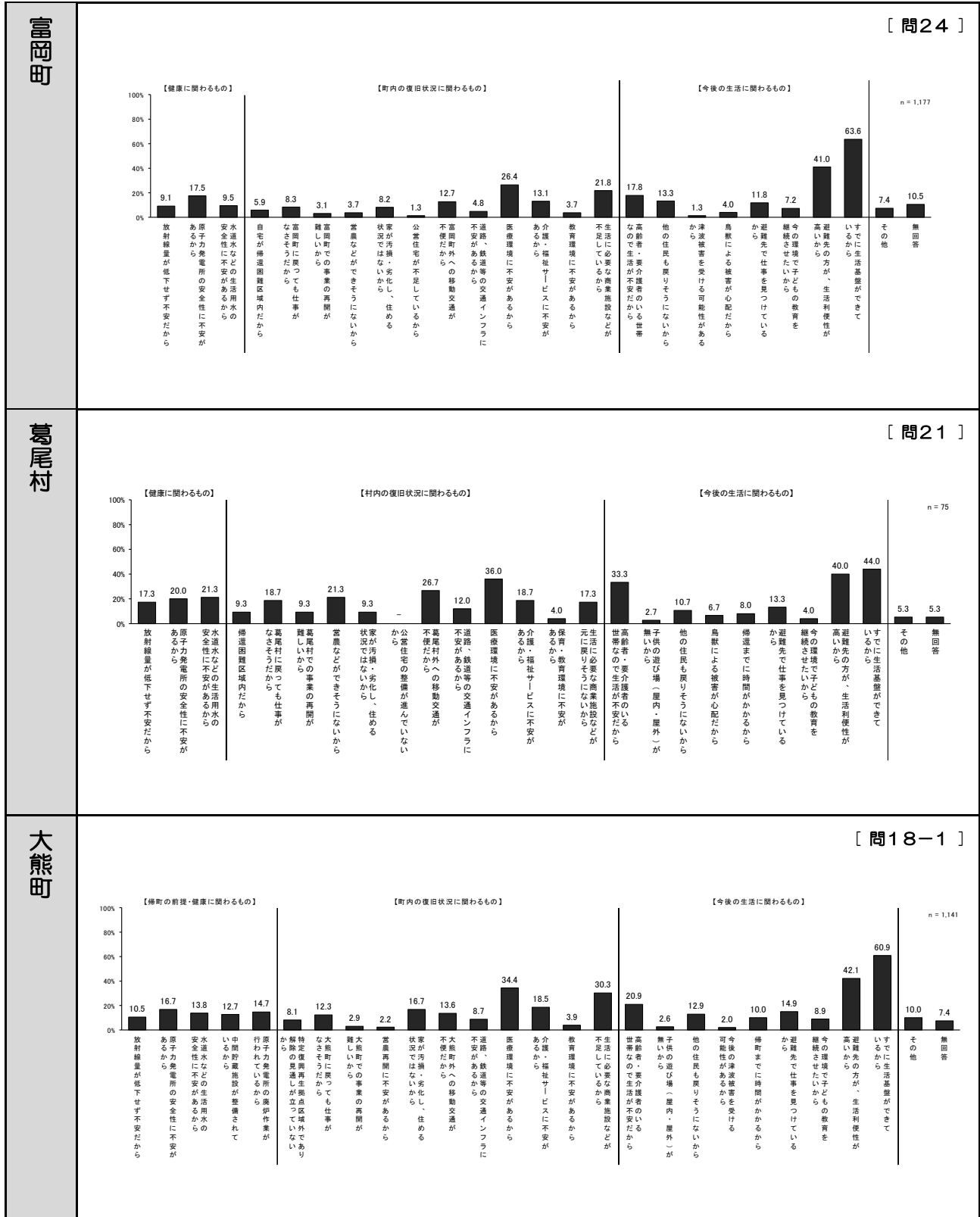
n = 309



3-2-9 帰還しないと決めている理由〔帰還しない方〕

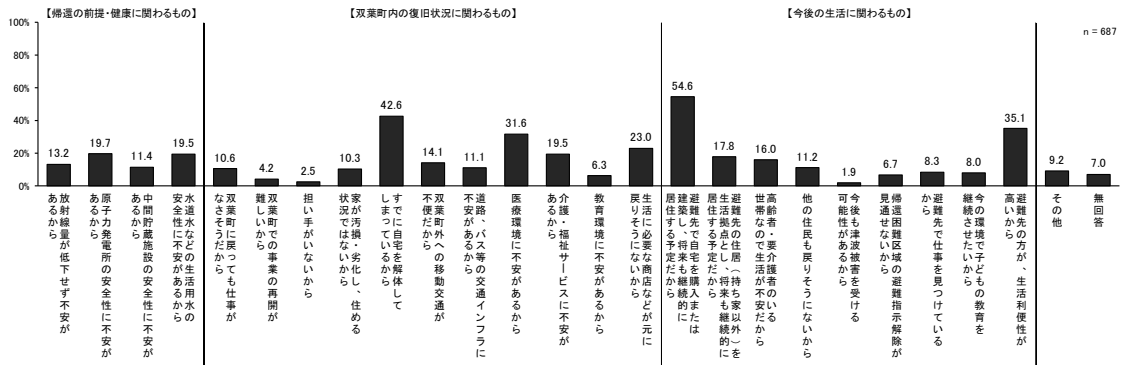
※帰還意向で「戻らないと決めている」と回答した世帯のみ集計対象

※富岡町は、帰還意向で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した世帯への設問だが、「戻らないと決めている」と回答した世帯のみを抽出して集計



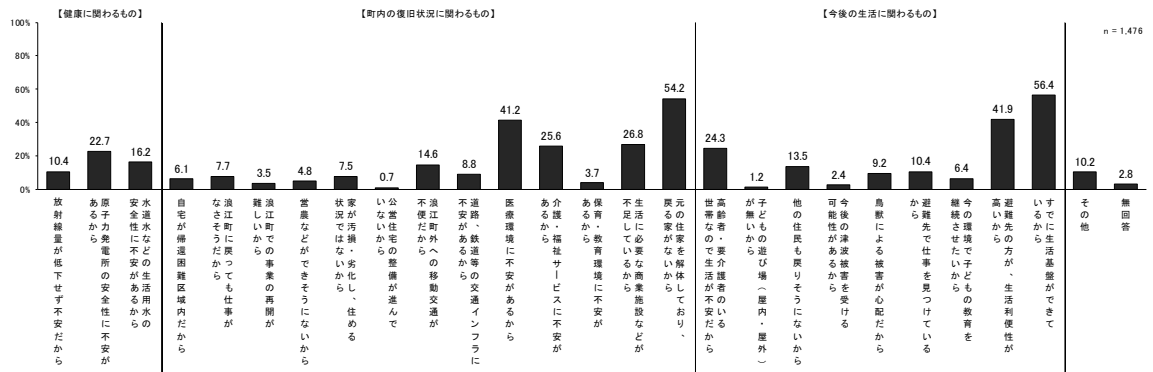
双葉町

[問15-1]



浪江町

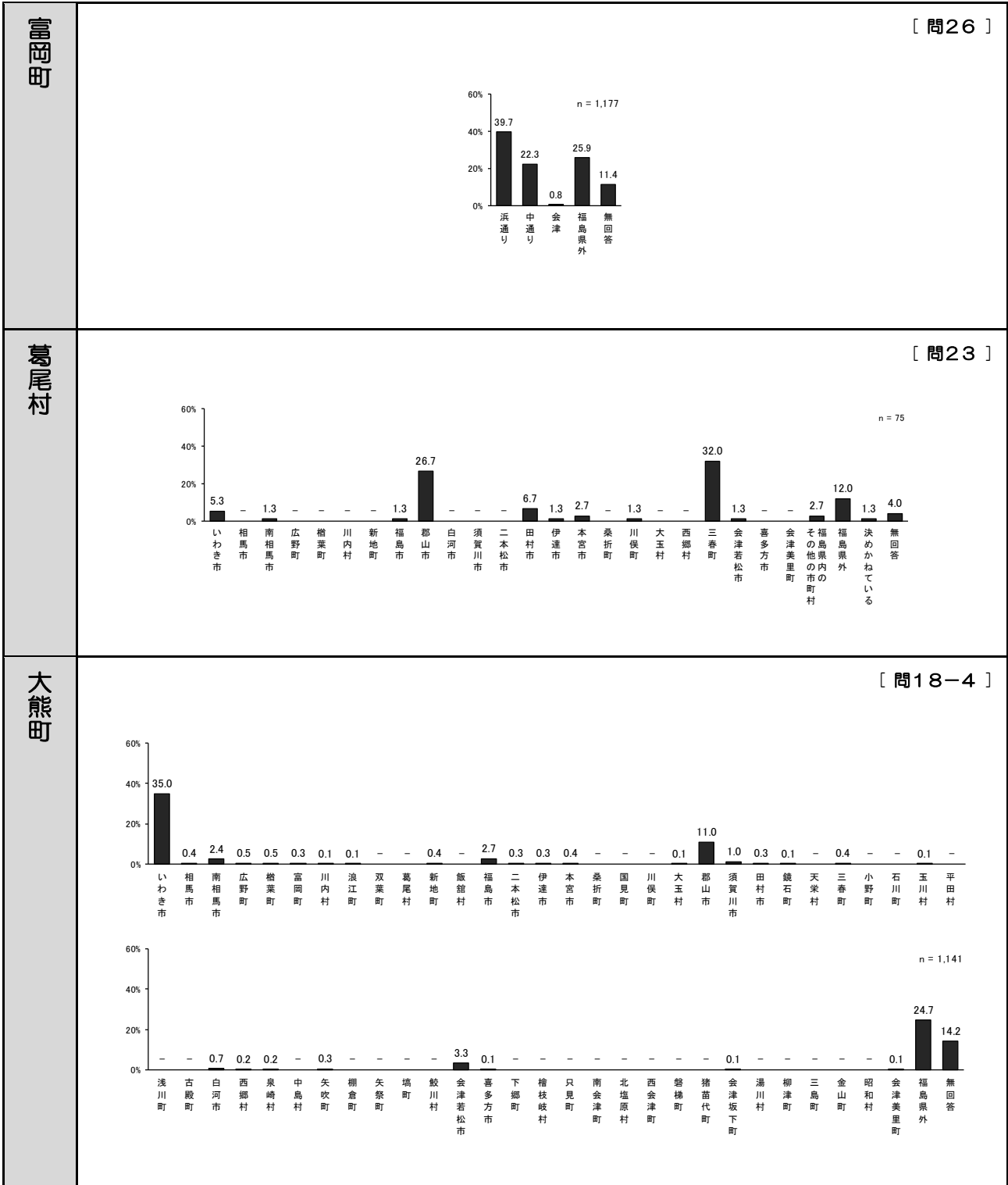
[問14]



3-2-10 帰還しない場合に居住を希望する自治体〔帰還しない方〕

※対象町村：富岡町、葛尾村、大熊町

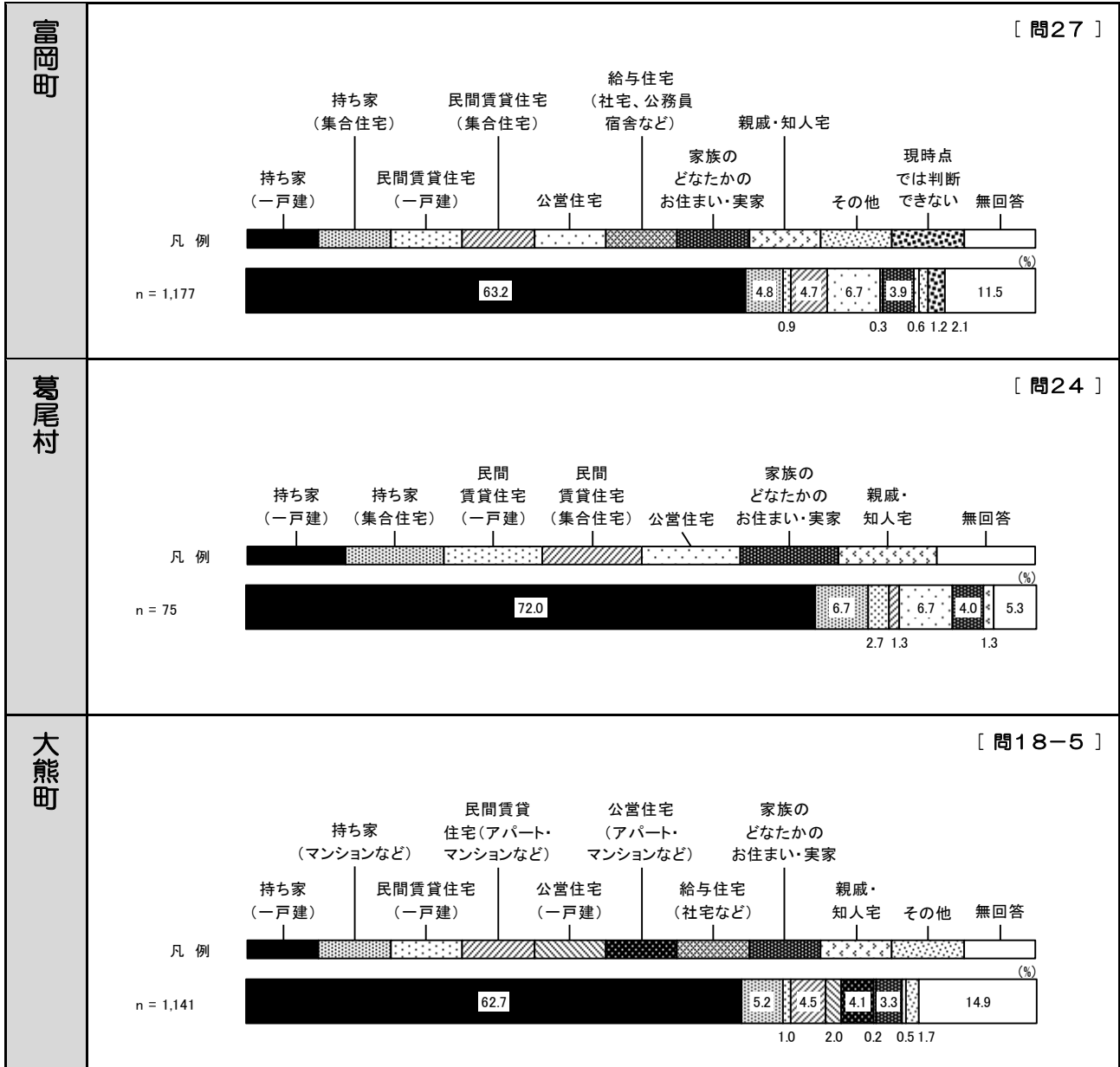
※富岡町は、帰還意向で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した世帯への設問だが、「戻らないと決めている」と回答した世帯のみを抽出して集計



3-2-11 帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態〔帰還しない方〕

※対象町村：富岡町、葛尾村、大熊町

※富岡町は、帰還意向で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した世帯への設問だが、「戻らないと決めている」と回答した世帯のみを抽出して集計

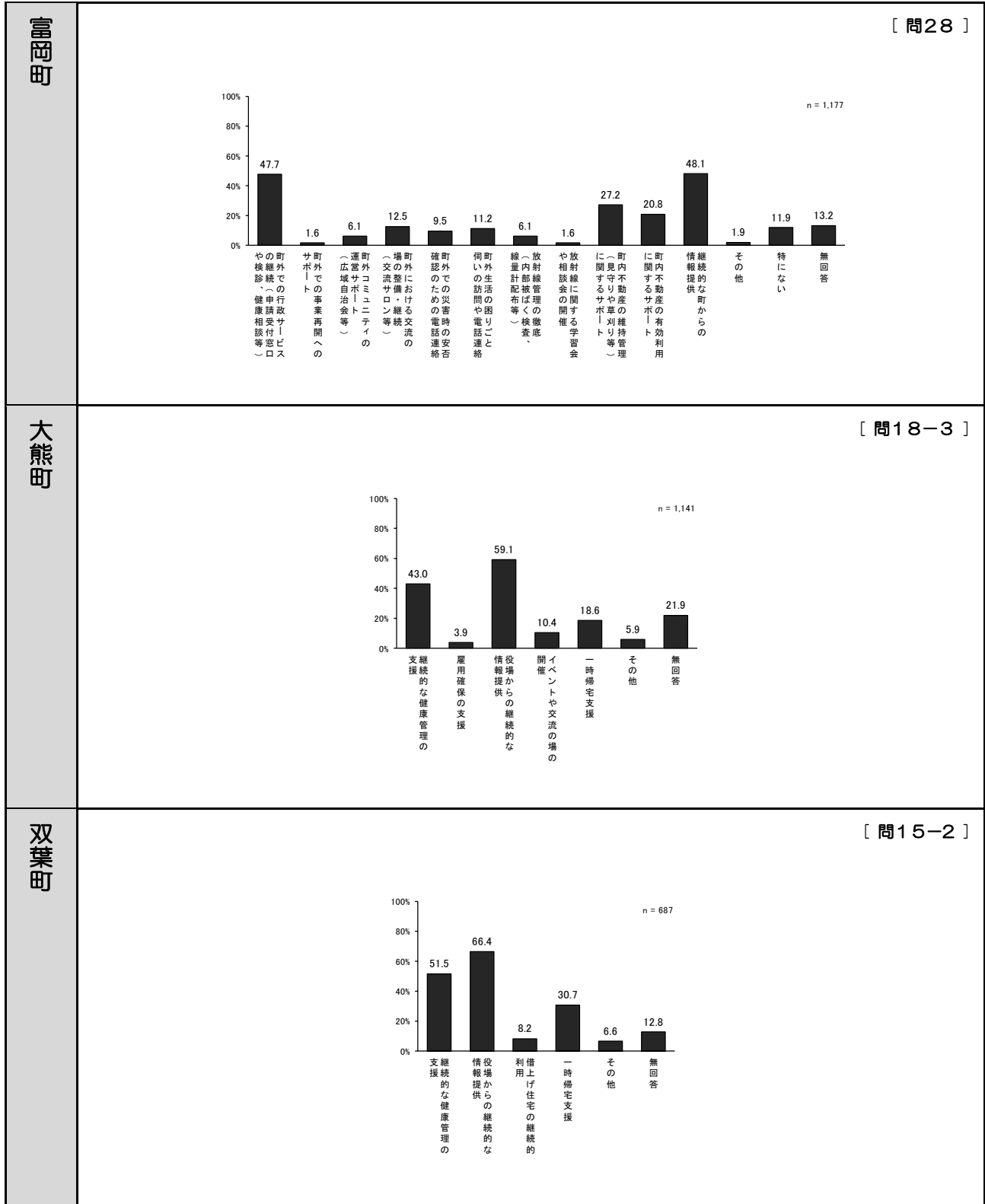


3-2-12 帰還しない場合に今後の生活において必要な支援〔帰還しない方〕

※対象町：富岡町、大熊町、双葉町

※帰還意向で「戻らないと決めている」と回答した世帯のみ集計対象

※富岡町は、帰還意向で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した世帯への設問だが、「戻らないと決めている」と回答した世帯のみを抽出して集計

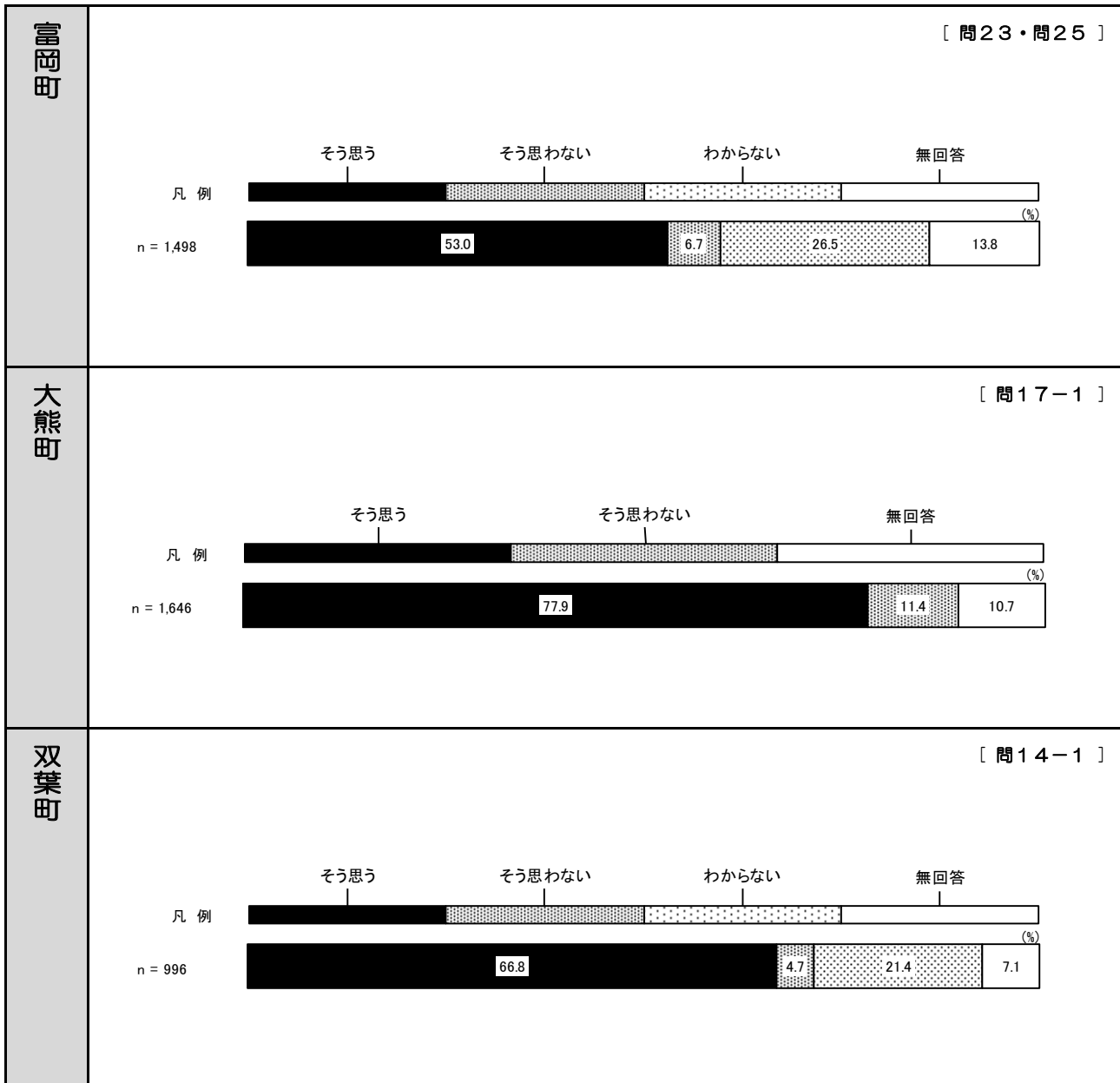


3-2-13 町との「つながり」を保ちたいか〔帰還の判断がつかない方・帰還しない方〕

※対象町：富岡町、大熊町、双葉町

※帰還意向で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した世帯のみ集計対象

※富岡町は、帰還意向で「まだ判断がつかない」「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した世帯への設問だが、「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した世帯のみを抽出して集計



**令和5年度
福島県の原子力災害による
避難指示区域等の住民意向調査
全体報告書**

**令和6年3月
復興庁**

調査機関：株式会社サーベイリサーチセンター